

第5次佐倉市総合計画に向けた
市民意識調査結果報告書

佐 倉 市

目 次

1. 調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査の設計	1
(3) 報告書の見方	1
2. 調査の結果	2
(1) 属性・調査票問 2	2
(2) まちづくりについて・調査票問 1	11
(3) 市政について・調査票問 3	26
(4) 各施策の満足度・重要度・調査票問 4	32
(5) 佐倉市のイメージ・調査票問 5	45
(6) 地域活動について・調査票問 6	55
(7) 市の施設の利用について・調査票問 4	59
3. 結果分析	67
4. 自由意見	71

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

佐倉市では、将来都市像「歴史 自然 文化のまち～「佐倉」へのおもいをかたちに～」の実現に向けて、各種施策に取り組んでいる。

本調査は、現在策定に取り組んでいる第5次佐倉市総合計画の基礎調査として、佐倉市の現状や課題に対する市民の皆様からの率直なご意見等をお聞かせいただき、第4次佐倉市総合計画の総括や今後の施策検討に活用するために実施するもの。

(2) 調査の設計

調査地域	佐倉市全域
調査対象	市内在住の18歳以上の男女
調査方法	郵送配付・回収
有効対象者数	3,987名(4,000名を対象としたが、一部郵送票があて所不明で返送された)
抽出方法	住民基本台帳から層化多段無作為抽出
調査期間	平成30年1月～平成30年2月
有効回収数	984票
有効回収率	24.7%

(3) 報告書の見方

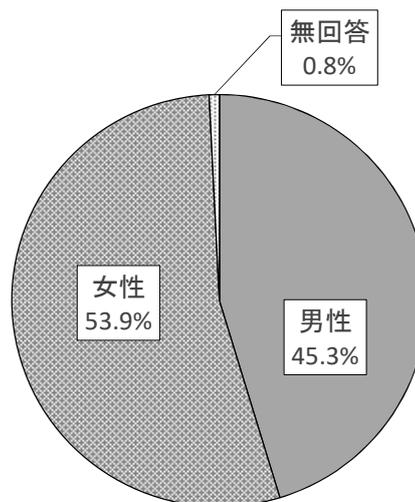
- 配付された調査票の設問順と、本報告書の集計の順は一致していない。(調査票では属性に関する設問は中盤に配していたが、本報告書では属性の集計をはじめに掲載している。)
- 「割合」は、各項目の回答数を回答総数で除し、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示。このため、割合の合計が100%にならないことがある。
- 複数回答の質問の「回答者数」は、回答総数ではなく回答者総数を表示。また、各選択肢の「割合」は、回答数を回答総数ではなく回答者総数で除しており、「割合」の「全体」は100%を超えるため斜線表示としている。
- 回答者を限定する設問(特定の設問において特定の選択肢を回答した方を対象としているため)は、回答者数が調査対象者数を下回る。
- 第4次佐倉市総合計画策定時の市民意識調査(平成21年実施)と同じ設問については、前回調査結果を併記している。(ただし、今回調査では無回答を割合に参入しているが、前回調査では参入していなかったため、前回調査結果を再算定した)
- 設問ごとの単純集計のほかに、属性ごとの傾向が見られたクロス集計を掲載している。また、クロス集計は、属性無回答者を除外して集計しているため、回答者総数と一致しない。

2. 調査の結果

(1) 属性 - 調査票問2

1. 性別

	人数(人)	割合(%)
男性	446	45.3
女性	530	53.9
無回答	8	0.8
全体	984	100.0



回答者の性別は、女性の割合のほうが高くなっているが、おおむね同程度の割合となっている。

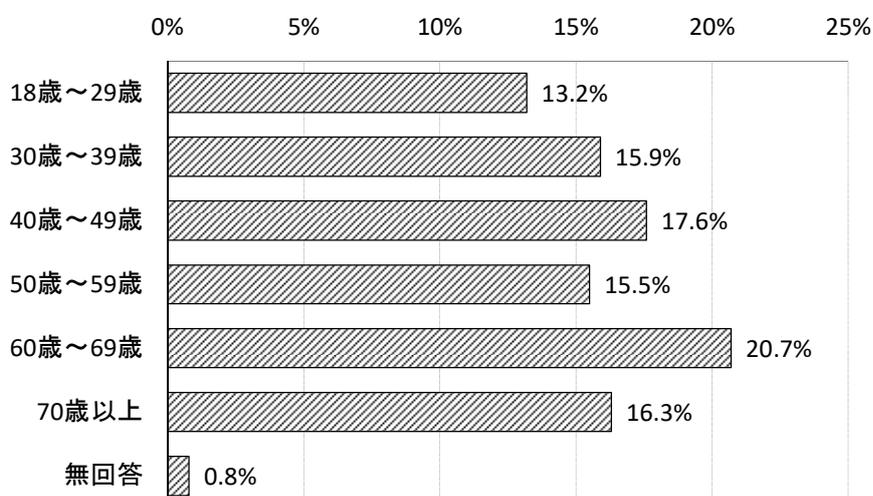
2. 年齢

	人数(人)	割合(%)
18歳～29歳	130	13.2
30歳～39歳	156	15.9
40歳～49歳	173	17.6
50歳～59歳	153	15.5
60歳～69歳	204	20.7
70歳以上	160	16.3
無回答	8	0.8
全体	984	100.0

	配布数(票)	回収率(%)
18歳～29歳	1,080	12.0
30歳～39歳	700	22.3
40歳～49歳	790	21.9
50歳～59歳	560	27.3
60歳～69歳	490	41.6
70歳以上	380	42.1
無回答		
全体	4,000	24.6

平成29年度末 18歳以上の人口構成	
	19,234人(12.7%)
	19,879人(13.2%)
	26,299人(17.4%)
	21,363人(14.1%)
	28,956人(19.2%)
	35,426人(23.4%)
	151,157人(100.0%)

※年齢層ごとに層化抽出したため、参考として年齢層ごとの回収率を記載した。

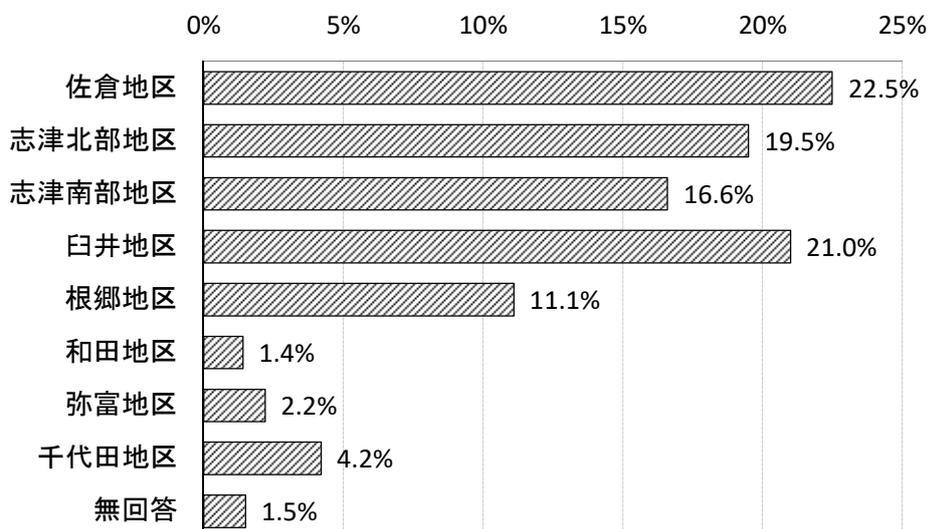


回答者の年齢層は、60歳～69歳の割合が高くなっている。
配布数に対する回収率は、60歳以上の年齢層が高い。
回答者の年齢層別の構成比は、70歳以上の割合が実際の人口と比較するとやや低く、本調査の集計は69歳以下の回答の比重が高い。

3. 居住地区

	人数(人)	割合(%)	配布数(票)	回収率(%)
佐倉地区	221	22.5	680	32.5
志津北部地区	192	19.5	1,560	22.8
志津南部地区	163	16.6	720	28.8
臼井地区	207	21.0	600	18.2
根郷地区	109	11.1	80	17.5
和田地区	14	1.4	80	27.5
弥富地区	22	2.2	280	14.6
千代田地区	41	4.2		
無回答	15	1.5		
全体	984	100.0	4,000	24.6

※年齢層ごとに層化抽出したため、参考として地区ごとの回収率を記載した。



市内の地区区分

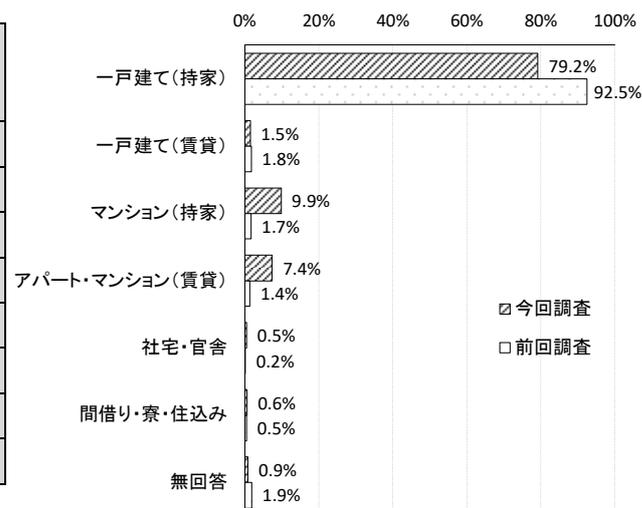


回答者の居住地区は、佐倉地区、臼井地区、志津北部地区、志津南部地区の順に割合が高くなっている。(志津南北を合計すると、志津地区が最も高い)

配布数に対する回収率は、佐倉地区、臼井地区、弥富地区の順に割合が高い。

4. 住居

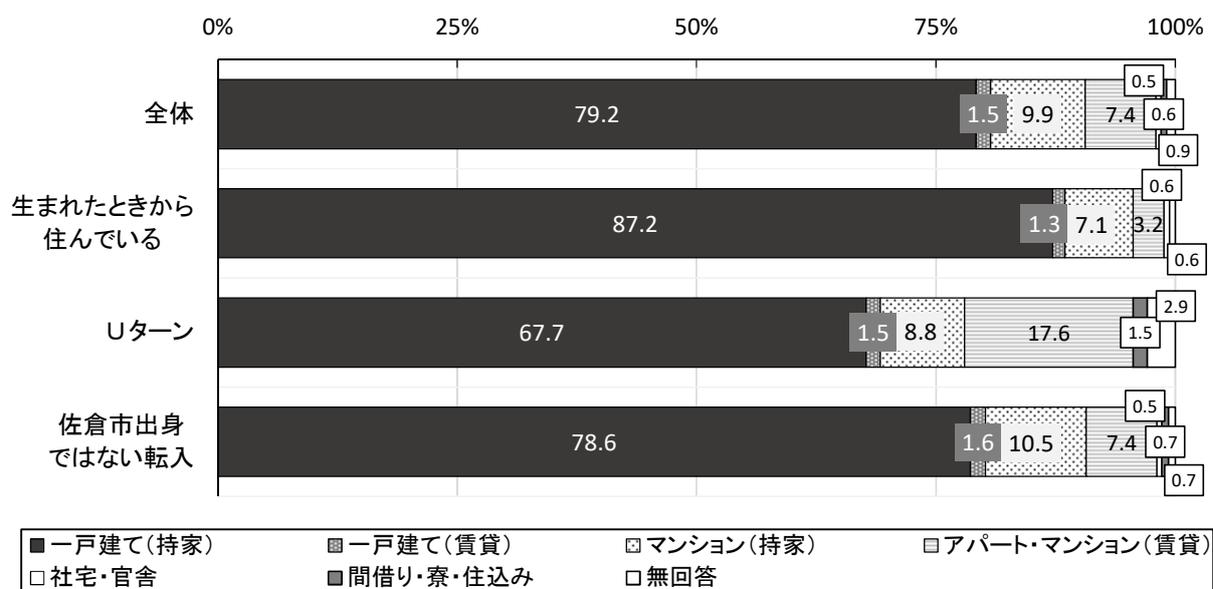
	人数 (人)	割合 (%)	前回 調査 (%)
一戸建て(持家)	779	79.2	92.5
一戸建て(賃貸)	15	1.5	1.8
マンション(持家)	97	9.9	1.7
アパート・マンション(賃貸)	73	7.4	1.4
社宅・官舎	5	0.5	0.2
間借り・寮・住込み	6	0.6	0.5
無回答	9	0.9	1.9
全体	984	100.0	100.0



【市内居住の経緯別】

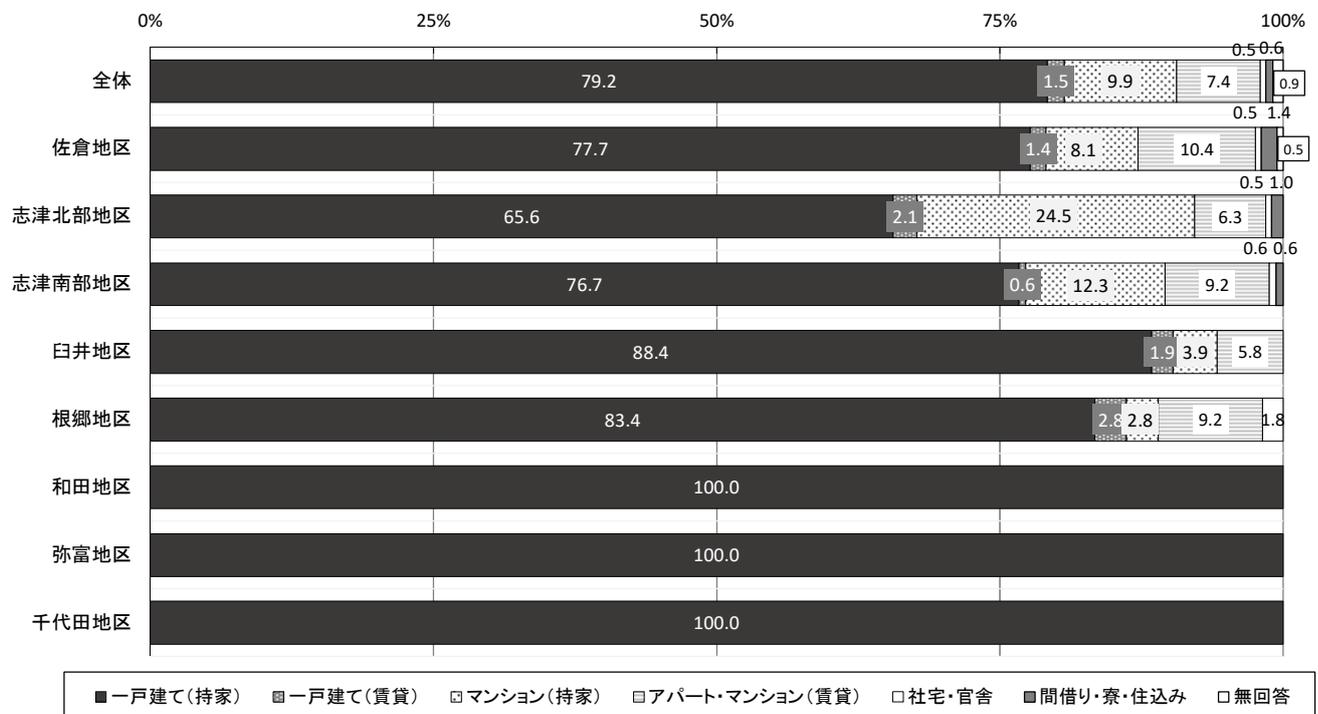
	人数 (人)	割合 (%)						
		一戸建て (持家)	一戸建て (賃貸)	マンション (持家)	マンション (賃貸)	アパート・ マンション	社宅・官舎	寮・住込み・ 間借り
全体	984	79.2	1.5	9.9	7.4	0.5	0.6	0.9
生まれたときから 住んでいる	154	87.2	1.3	7.1	3.2	0.6	0.0	0.6
Uターン	68	67.7	1.5	8.8	17.6	0.0	1.5	2.9
佐倉市出身ではない 転入	755	78.6	1.6	10.5	7.4	0.5	0.7	0.7

※市内居住の経緯は、後掲の「(2)まちづくりについて」の設問



【地区別】

	人数(人)	割合(%)						
		一戸建て(持家)	一戸建て(賃貸)	マンション(持家)	マンション(賃貸)	アパート・マンション(賃貸)	社宅・官舎	間借り・寮・住込み
全体	984	79.2	1.5	9.9	7.4	0.5	0.6	0.9
佐倉地区	221	77.7	1.4	8.1	10.4	0.5	1.4	0.5
志津北部地区	192	65.6	2.1	24.5	6.3	0.5	1.0	0.0
志津南部地区	163	76.7	0.6	12.3	9.2	0.6	0.6	0.0
臼井地区	207	88.4	1.9	3.9	5.8	0.0	0.0	0.0
根郷地区	109	83.4	2.8	2.8	9.2	1.8	0.0	0.0
和田地区	14	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
弥富地区	22	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
千代田地区	41	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0



回答者の住居は、「一戸建て(持家)」が最も多く79.2%、「マンション(持家)」が9.9%、「アパート・マンション(賃貸)」が7.4%の順に割合が高くなっている。前回調査と比較すると、「一戸建て(持家)」の割合が減少し、「マンション(持家)」、「アパート・マンション(賃貸)」が増加している。

地区別にみると、志津北部地区、志津南部地区における「マンション(持家)」の割合、佐倉地区、志津南部地区、根郷地区における「アパート・マンション(賃貸)」の割合が高くなっており、主に市内の北部で住居形態の変化がみられる。

居住経過別にみると、生まれたときから住んでいる方や佐倉市出身でない転入者は、一戸建て(持家)とマンション(持家)の合計が約9割で、ほとんどが持ち家に住んでいる。一方でUターンをした方は、持ち家の割合がそれよりも低く、17.6%がアパート・マンション(賃貸)に住んでいる。

【参考】実際の住居の所有形態

平成 27 年(2015 年)の国勢調査をもとに、佐倉市の「住宅に住む一般世帯」における居宅の所有形態と、今回のアンケート調査結果を比較した。

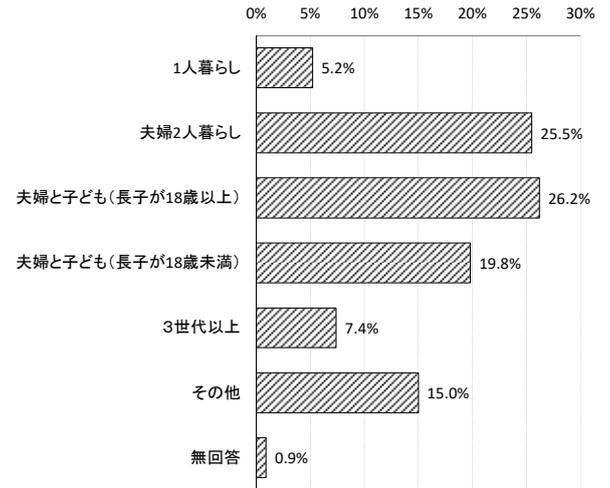
おおむね実際の住居所有形態に近い分布となっている。

	国勢調査(2015 年)		本アンケート	
	住宅に住む 一般世帯数 (世帯)	割合 (%)	割合(%)	
一戸建て(持家)	54,946	81.3	81.4	79.9
マンション(持家)				1.5
一戸建て(賃貸)	11,263	16.7	17.4	9.9
アパート・マンション(賃貸)				7.5
社宅・官舎	886	1.3	0.5	0.5
間借り・寮・住込み	528	0.8	0.6	0.6
全体	67,623	100.0	100.0	

※比較のため、本アンケートについては無回答を除外して再計算している。

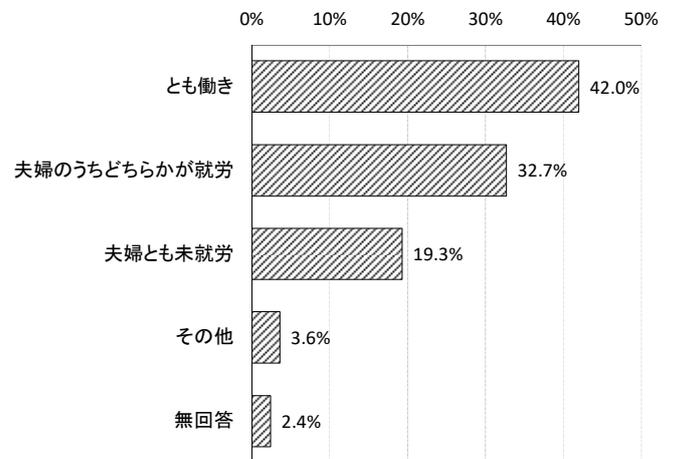
5. 家族構成

	人数(人)	割合(%)
1人暮らし	51	5.2
夫婦2人暮らし	251	25.5
夫婦と子ども (長子が18歳以上)	257	26.2
夫婦と子ども (長子が18歳未満)	195	19.8
3世代以上	73	7.4
その他	148	15.0
無回答	9	0.9
全体	984	100.0



6. 夫婦の就労状況

	人数(人)	割合(%)
とも働き	325	42.0
夫婦のうちどちらかが就労	254	32.7
夫婦とも未就労	150	19.3
その他	28	3.6
無回答	19	2.4
全体	776	100.0

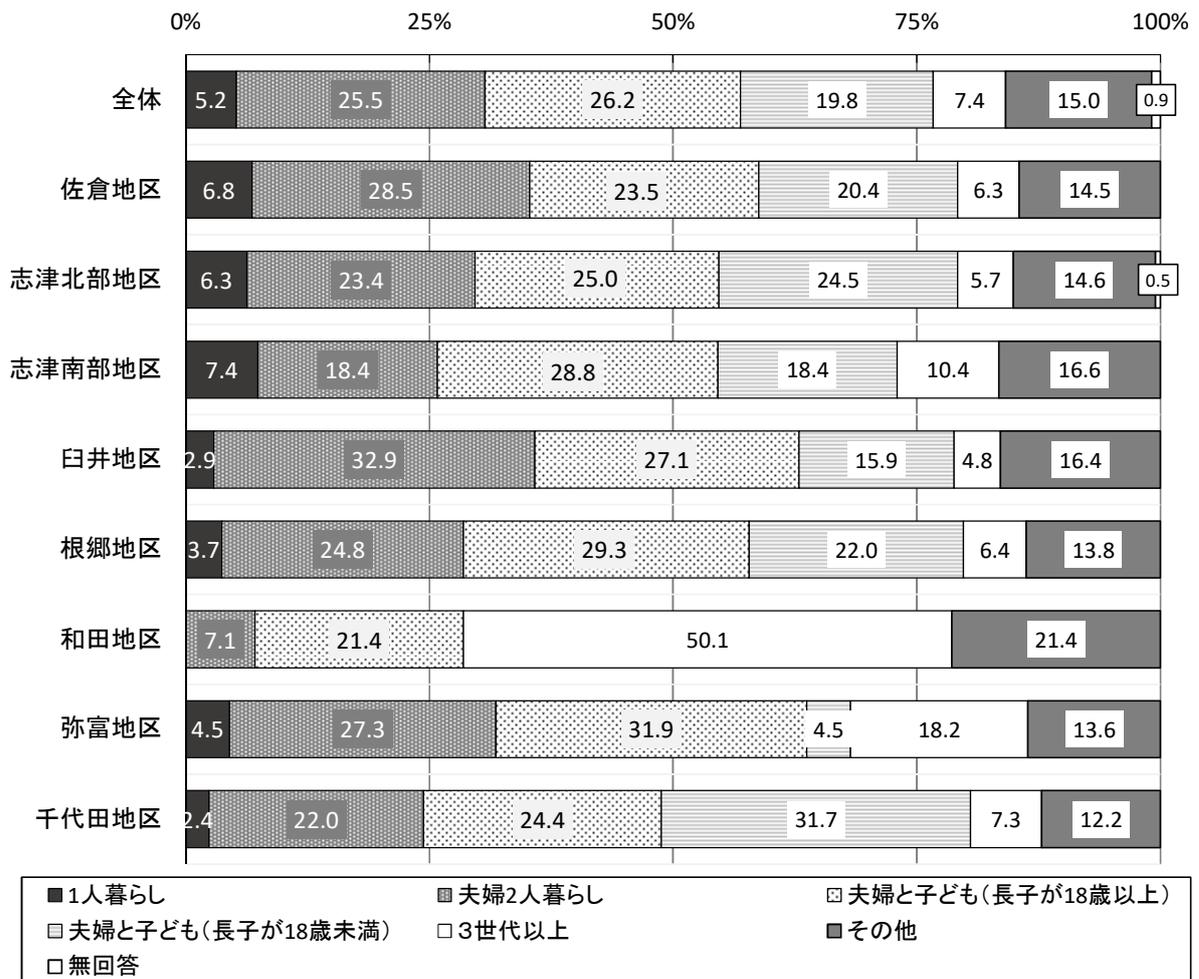


回答者のうち、いわゆる核家族が71.5%（「夫婦2人暮らし」と「夫婦と子ども（長子が18歳以上）」、「夫婦と子ども（長子が18歳未満）」の合計）を占める。また、核家族及び3世代以上の世帯のうち、42.0%がとも働きとなっている。

地区別（次のページ）にみると、和田地区、弥富地区において3世代以上の世帯の割合が高くなっている。

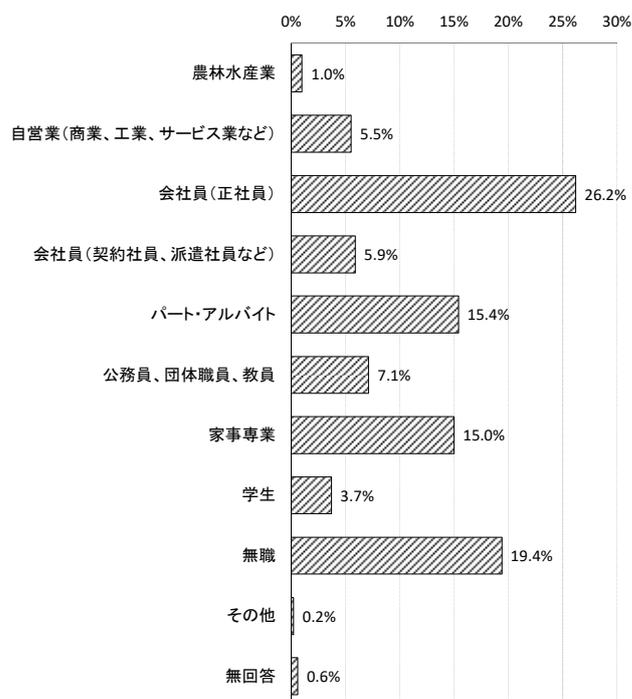
【地区別】

	人数(人)	割合(%)						
		1人暮らし	夫婦2人暮らし	夫婦と子ども (長子が18歳以上)	夫婦と子ども (長子が18歳未満)	3世代以上	その他	無回答
全体	984	5.2	25.5	26.2	19.8	7.4	15.0	0.9
佐倉地区	221	6.8	28.5	23.5	20.4	6.3	14.5	0.0
志津北部地区	192	6.3	23.4	25.0	24.5	5.7	14.6	0.5
志津南部地区	163	7.4	18.4	28.8	18.4	10.4	16.6	0.0
臼井地区	207	2.9	32.9	27.1	15.9	4.8	16.4	0.0
根郷地区	109	3.7	24.8	29.3	22.0	6.4	13.8	0.0
和田地区	14	0.0	7.1	21.4	0.0	50.1	21.4	0.0
弥富地区	22	4.5	27.3	31.9	4.5	18.2	13.6	0.0
千代田地区	41	2.4	22.0	24.4	31.7	7.3	12.2	0.0



7. 職業

	人数(人)	割合(%)
農林水産業	10	1.0
自営業(商業、工業、サービス業など)	54	5.5
会社員(正社員)	257	26.2
会社員(契約社員、派遣社員など)	58	5.9
パート・アルバイト	152	15.4
公務員、団体職員、教員	70	7.1
家事専業	148	15.0
学生	36	3.7
無職	191	19.4
その他	2	0.2
無回答	6	0.6
全体	984	100.0



回答者のうち、会社員(正社員)の割合が最も高くなっている。

8. 勤務地

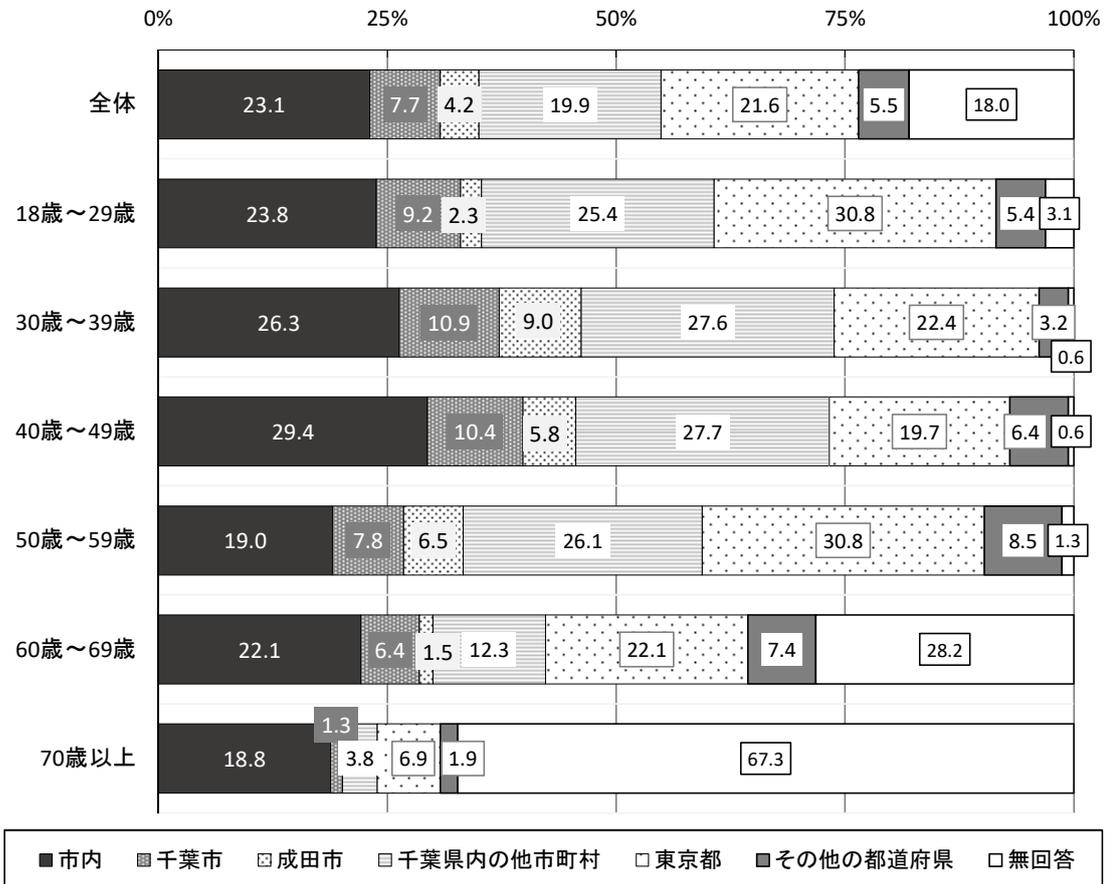
		人数(人)	割合(%)	前回調査(%)
市内		227	23.1	29.3
千葉県内	千葉市	76	7.7	7.8
	成田市	41	4.2	4.1
	八千代市	33	3.4	17.0
	船橋市	24	2.4	
	四街道市	20	2.0	
	市川市	14	1.4	
	習志野市	12	1.2	
	印西市	10	1.0	
	その他県内市町村	83	8.4	
県外	東京都	213	21.6	13.5
	その他の都道府県	54	5.5	4.7
無回答		177	18.0	23.7
全体		984	100.0	100.0

回答者のうち、市内で働く方の割合が最も高く 23.1%、次いで東京都へ通勤している方の割合が高く 21.6%となっている。

前回調査と比較すると、市内で働く方の割合が低下し、東京都へ通勤している方の割合が増加しています。

【年齢層別】

	人数(人)	割合(%)						
		市内	千葉市	成田市	他市町村 千葉県内の	東京都	その他の都道府県	無回答
全体	984	23.1	7.7	4.2	19.9	21.6	5.5	18.0
18歳～29歳	130	23.8	9.2	2.3	25.4	30.8	5.4	3.1
30歳～39歳	156	26.3	10.9	9.0	27.6	22.4	3.2	0.6
40歳～49歳	173	29.4	10.4	5.8	27.7	19.7	6.4	0.6
50歳～59歳	153	19.0	7.8	6.5	26.1	30.8	8.5	1.3
60歳～69歳	204	22.1	6.4	1.5	12.3	22.1	7.4	28.2
70歳以上	160	18.8	1.3	0.0	3.8	6.9	1.9	67.3



市内で働いている割合が最も高いのは、40歳～49歳となっている。市内を含めた千葉県内で働いている割合が最も高いのは30歳～39歳、東京都へ通勤している割合が高いのは18歳～29歳と50歳～59歳となっている。

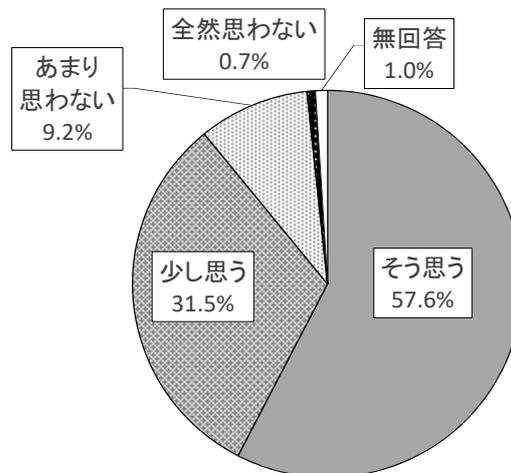
特に18歳～29歳は、東京都へ通勤している方の割合が最も高い。

(2)まちづくりについて - 調査票問1

1. 佐倉市は好きか

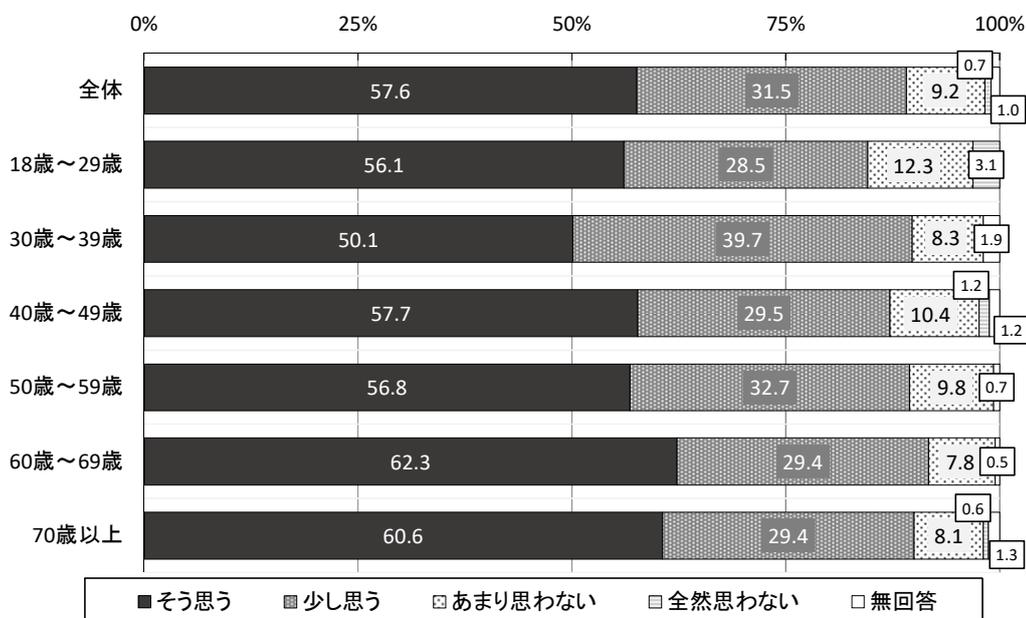
【全体】

	人数(人)	割合(%)
そう思う	566	57.6
少し思う	310	31.5
あまり思わない	91	9.2
全然思わない	7	0.7
無回答	10	1.0
全体	984	100.0



【年齢層別】

	人数(人)	割合(%)				
		そう思う	少し思う	あまり思わない	全然思わない	無回答
全体	984	57.6	31.5	9.2	0.7	1.0
18歳～29歳	130	56.1	28.5	12.3	3.1	0.0
30歳～39歳	156	50.1	39.7	8.3	0.0	1.9
40歳～49歳	173	57.7	29.5	10.4	1.2	1.2
50歳～59歳	153	56.8	32.7	9.8	0.0	0.7
60歳～69歳	204	62.3	29.4	7.8	0.0	0.5
70歳以上	160	60.6	29.4	8.1	0.6	1.3



回答者のうち、佐倉市を好意的に思っている方の割合(「そう思う」と「少し思う」の合計)が89.1%となっている。年齢層ごとにみても傾向に大きな差はなく、実際の転出が多い18歳～29歳、30歳～39歳においても他年齢層と同様の地域への愛着がみられる。地域への愛着の多寡と転出数の間に、相関は薄いと考えられる。

2. 佐倉市に住んで何年になるか

	人数(人)	割合(%)
生まれたときから住んでいる	154	15.7
Uターンして()年になる	68	6.9
佐倉市出身ではないが、転入して()年になる	755	76.7
無回答	7	0.7
全体	984	100.0

Uターン後の年数

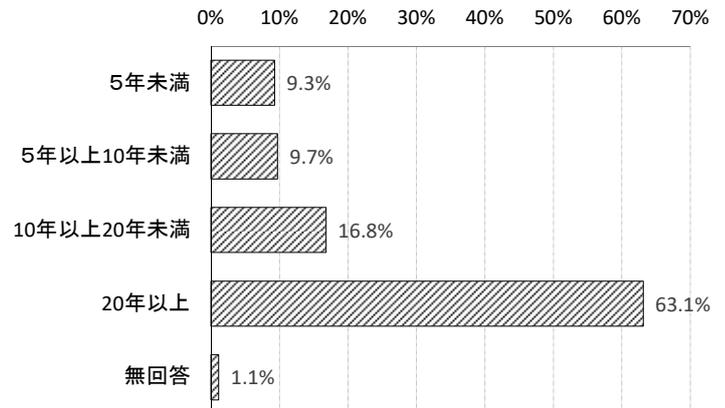
	人数(人)	割合(%)
5年未満	14	20.6
5年以上 10年未満	15	22.1
10年以上 20年未満	20	29.4
20年以上	19	27.9
無回答	0	0.0
全体	68	100.0

転入後年数

	人数(人)	割合(%)
5年未満	80	10.6
5年以上 10年未満	80	10.6
10年以上 20年未満	144	19.1
20年以上	448	59.3
無回答	3	0.4
全体	755	100.0

居住年数※

	人数(人)	割合(%)
5年未満	92	9.3
5年以上 10年未満	95	9.7
10年以上 20年未満	165	16.8
20年以上	621	63.1
無回答	11	1.1
全体	984	100.0



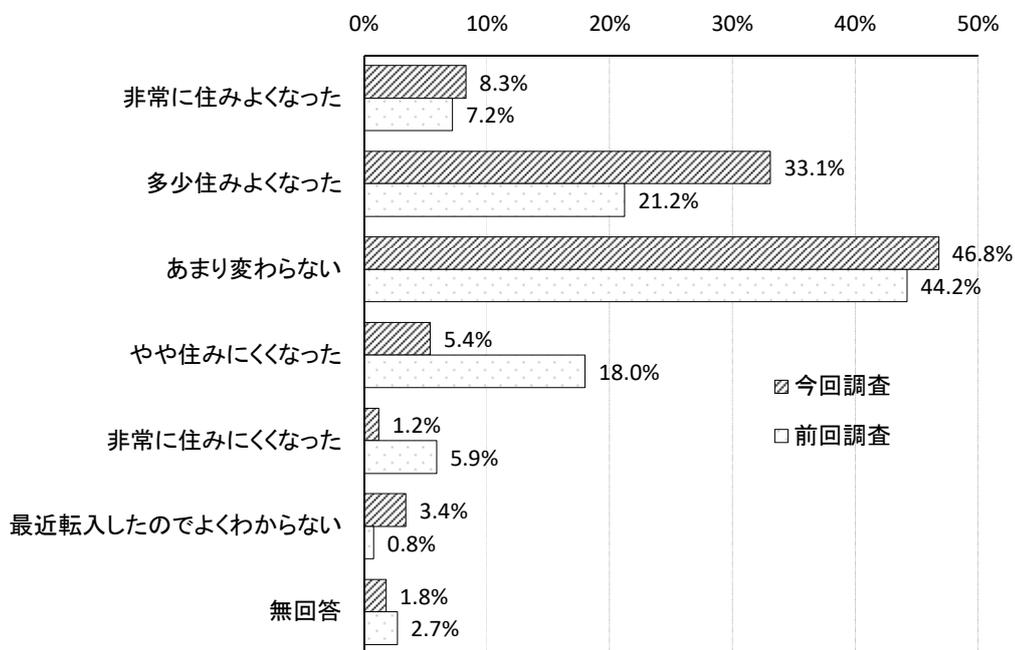
※佐倉市出身の転入者については、転入後の年数のみを数える。

回答者のうち、20年以上市内に居住している方の割合が63.1%となっている。

3. この10年ほどで、佐倉市は住みよくなったか(転入後10年未経過の方は、転入時との比較)

【全体】

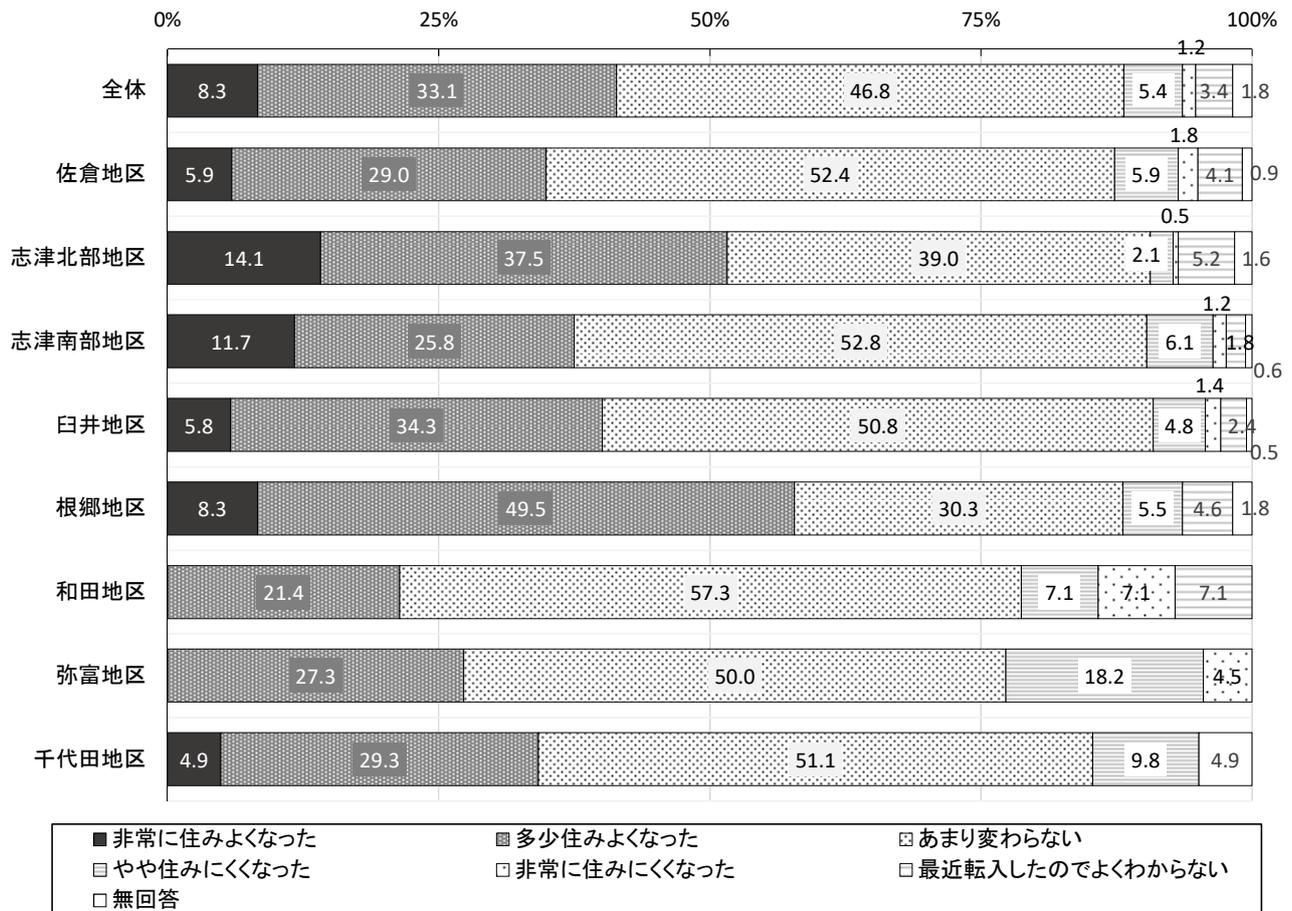
	人数(人)	割合(%)	前回調査(%)
非常に住みよくなった	82	8.3	7.2
多少住みよくなった	326	33.1	21.2
あまり変わらない	460	46.8	44.2
やや住みにくくなった	53	5.4	18.0
非常に住みにくくなった	12	1.2	5.9
最近転入したのでよくわからない	33	3.4	0.8
無回答	18	1.8	2.7
全体	984	100.0	100.0



回答者のうち、住みよくなったと回答した方の割合(「非常に住みよくなった」と「多少住みよくなった」の合計)が41.4%となっており、前回調査の28.4%から改善がみられる。

【地区別】

	人数(人)	割合(%)						
		非常に住みよくなった	多少住みよくなった	あまり変わらない	やや住みにくくなった	非常に住みにくくなった	最近転入したのでよくわからない	無回答
全体	984	8.3	33.1	46.8	5.4	1.2	3.4	1.8
佐倉地区	221	5.9	29.0	52.4	5.9	1.8	4.1	0.9
志津北部地区	192	14.1	37.5	39.0	2.1	0.5	5.2	1.6
志津南部地区	163	11.7	25.8	52.8	6.1	1.2	1.8	0.6
臼井地区	207	5.8	34.3	50.8	4.8	1.4	2.4	0.5
根郷地区	109	8.3	49.5	30.3	5.5	0.0	4.6	1.8
和田地区	14	0.0	21.4	57.3	7.1	7.1	7.1	0.0
弥富地区	22	0.0	27.3	50.0	18.2	4.5	0.0	0.0
千代田地区	41	4.9	29.3	51.1	9.8	0.0	0.0	4.9

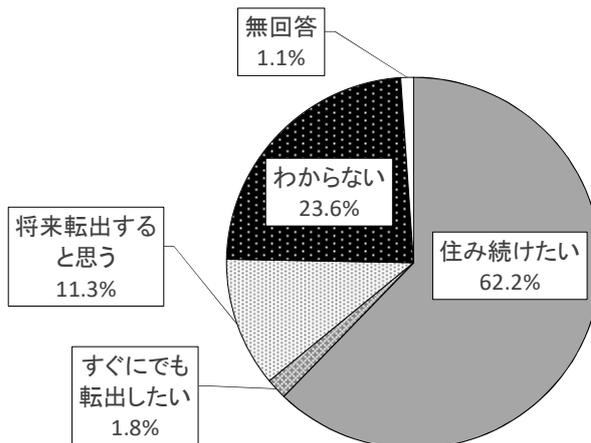


地区別にみると、住みよくなったと回答した方の割合(「非常に住みよくなった」と「多少住みよくなった」の合計)は、根郷地区が最も高く、次いで志津北部地区が高くなっている。

4. 今後も佐倉市に住み続けたいか

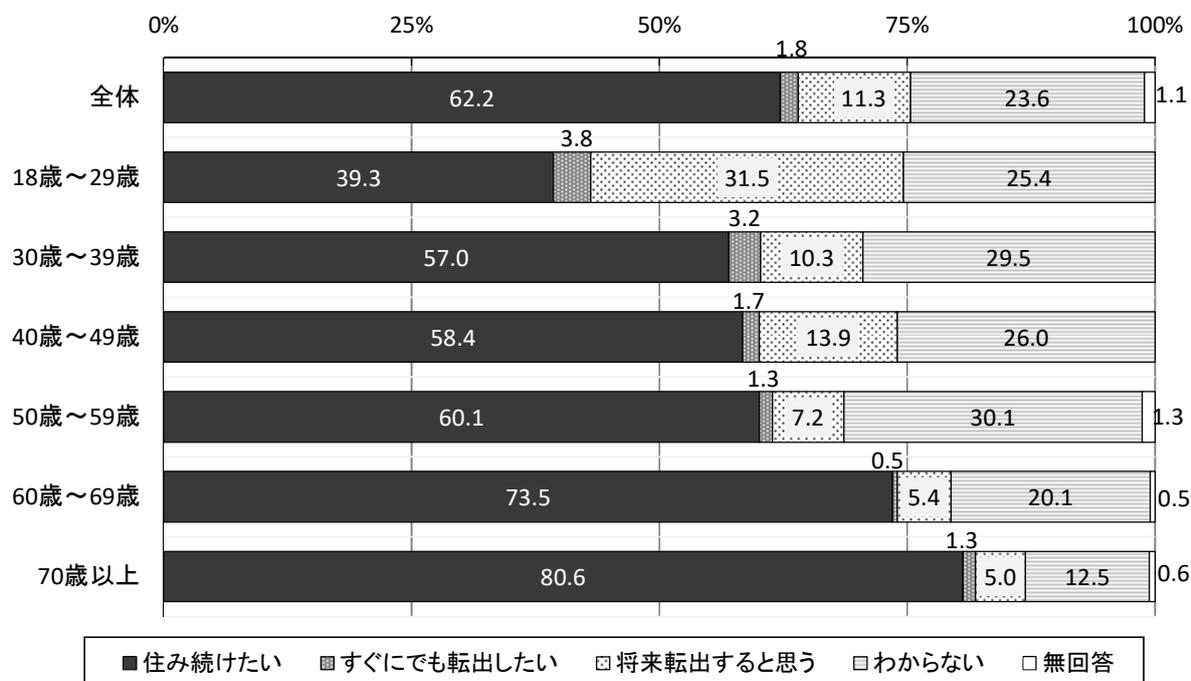
【全体】

	人数(人)	割合(%)
住み続けたい	612	62.2
すぐにでも転出したい	18	1.8
将来転出すると思う	111	11.3
わからない	232	23.6
無回答	11	1.1
全体	984	100.0



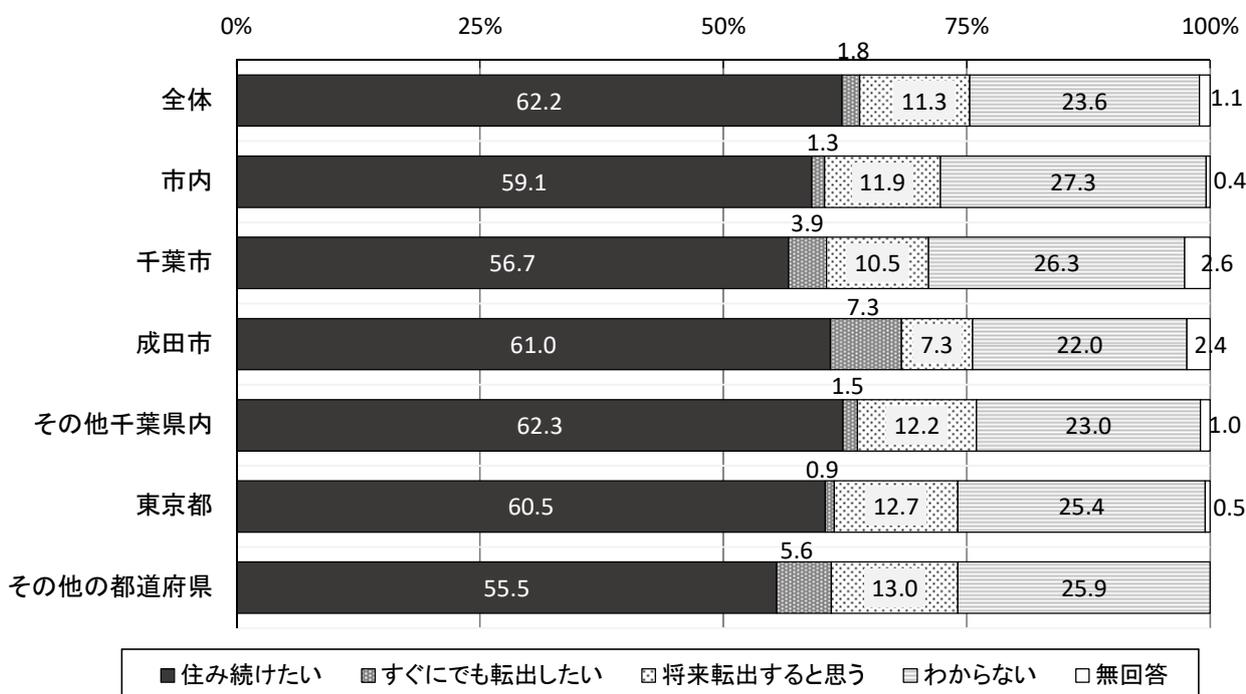
【年齢層別】

	人数(人)	割合(%)				
		住み続けたい	すぐにでも転出したい	将来転出すると思う	わからない	無回答
全体	984	62.2	1.8	11.3	23.6	1.1
18歳～29歳	130	39.3	3.8	31.5	25.4	0.0
30歳～39歳	156	57.0	3.2	10.3	29.5	0.0
40歳～49歳	173	58.4	1.7	13.9	26.0	0.0
50歳～59歳	153	60.1	1.3	7.2	30.1	1.3
60歳～69歳	204	73.5	0.5	5.4	20.1	0.5
70歳以上	160	80.6	1.3	5.0	12.5	0.6



【勤務先別】

	人数(人)	割合(%)				
		住み続けたい	すぐにでも転出したい	将来転出すると思う	わからない	無回答
全体	984	62.2	1.8	11.3	23.6	1.1
市内	227	59.1	1.3	11.9	27.3	0.4
千葉市	76	56.7	3.9	10.5	26.3	2.6
成田市	41	61.0	7.3	7.3	22.0	2.4
その他千葉県内	196	62.3	1.5	12.2	23.0	1.0
東京都	213	60.5	0.9	12.7	25.4	0.5
その他の都道府	54	55.5	5.6	13.0	25.9	0.0



回答者のうち、「住み続けたい」と回答した方の割合が最も高く62.2%となっている。

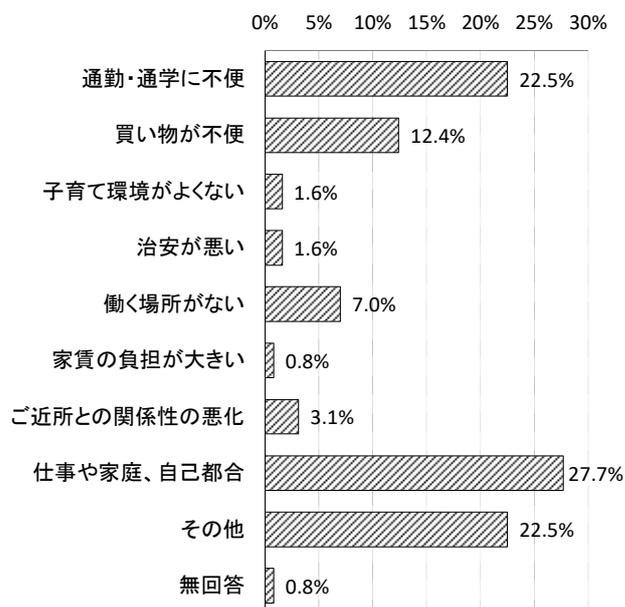
年齢別にみると、18歳～29歳において「住み続けたい」と回答した方の割合が低く39.3%、30歳～59歳にかけては「住み続けたい」と回答した方の割合はおおむね同程度となっている。

勤務先別にみると、「市内」と千葉県内、東京都の間で「住み続けたい」と回答した方の割合に大きな差はなく、勤務先と定住意向の間に強い相関はみられない。

5. 転出したい理由

(「4. 今後も佐倉市に住み続けたいか」において「すぐにでも転出したい」、「将来転出すると思う」と回答した方を対象)

	人数(人)	割合(%)
通勤・通学に不便	29	22.5
買い物が不便	16	12.4
子育て環境がよくない	2	1.6
治安が悪い	2	1.6
働く場所がない	9	7.0
家賃の負担が大きい	1	0.8
ご近所との関係性の悪化	4	3.1
仕事や家庭、自己都合	36	27.7
その他	29	22.5
無回答	1	0.8
全体	129	100.0



【年齢層別】

	人数(人)	割合(%)									
		通勤・通学に不便	買い物が不便	子育て環境がよくない	治安が悪い	働く場所がない	家賃の負担が大きい	関係性の悪化 ご近所との	仕事や家庭、自己都合	その他	無回答
全体	129	22.5	12.4	1.6	1.6	7.0	0.8	3.1	27.7	22.5	0.8
18歳～29歳	46	36.9	2.2	0.0	2.2	6.5	0.0	0.0	37.0	15.2	0.0
30歳～39歳	21	19.0	19.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.5	28.7	23.8	0.0
40歳～49歳	27	18.5	18.5	3.7	0.0	11.1	0.0	0.0	22.2	26.0	0.0
50歳～59歳	13	15.4	7.7	0.0	7.7	15.4	0.0	7.7	30.7	15.4	0.0
60歳～69歳	12	8.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	50.0	8.3
70歳以上	10	0.0	30.0	10.0	0.0	10.0	10.0	10.0	10.0	20.0	0.0

回答者のうち、「仕事や家庭、自己都合」と回答した方の割合が最も高く27.7%となっている。

年齢別にみると、18歳～29歳において「仕事や家庭、自己都合」、「通勤・通学に不便」と回答した方の割合が高くなっている一方で、他の要因を回答した割合は他の年齢層よりも低くなっている。

【地区別】

	人数(人)	割合(%)									
		通勤・通学に不便	買い物に不便	子育て環境がよくない	治安が悪い	働く場所がない	家賃の負担が大きい	「近所との関係性の悪化	仕事や家庭、自己都合	その他	無回答
全体	129	22.5	12.4	1.6	1.6	7.0	0.8	3.1	27.7	22.5	0.8
佐倉地区	34	17.6	14.7	2.9	2.9	11.8	0.0	5.9	23.6	20.6	0.0
志津北部地区	26	26.9	3.8	3.8	0.0	3.8	0.0	0.0	30.9	30.8	0.0
志津南部地区	20	25.0	10.0	0.0	0.0	10.0	5.0	0.0	30.0	20.0	0.0
臼井地区	21	28.5	14.3	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	19.0	28.6	4.8
根郷地区	16	6.3	12.5	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	49.9	25.0	0.0
和田地区	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
弥富地区	3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
千代田地区	5	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0

【地区別：母数を全体とした場合】

	人数(人)	割合(%)									
		通勤・通学に不便	買い物に不便	子育て環境がよくない	治安が悪い	働く場所がない	家賃の負担が大きい	「近所との関係性の悪化	仕事や家庭、自己都合	その他	無回答
全体	984	2.9	1.6	0.2	0.2	0.9	0.1	0.4	3.7	2.9	0.1
佐倉地区	221	2.7	2.3	0.5	0.5	1.8	0.0	0.9	3.6	3.2	0.0
志津北部地区	192	3.6	0.5	0.5	0.0	0.5	0.0	0.0	4.2	4.2	0.0
志津南部地区	163	3.1	1.2	0.0	0.0	1.2	0.6	0.0	3.7	2.5	0.0
臼井地区	207	2.9	1.4	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	1.9	2.9	0.5
根郷地区	109	0.9	1.8	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	7.3	3.7	0.0
和田地区	14	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
弥富地区	22	4.5	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0
千代田地区	41	7.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.9	0.0	0.0	0.0

地区別にみると、「仕事や家庭、自己都合」以外の要因が最も多かった地区は、臼井地区、和田地区、弥富地区、千代田地区となっている。

ただし、和田地区、弥富地区、千代田地区においては、転出意向者の数が多くなく1票の比重が大きいことを考慮してみる必要がある。

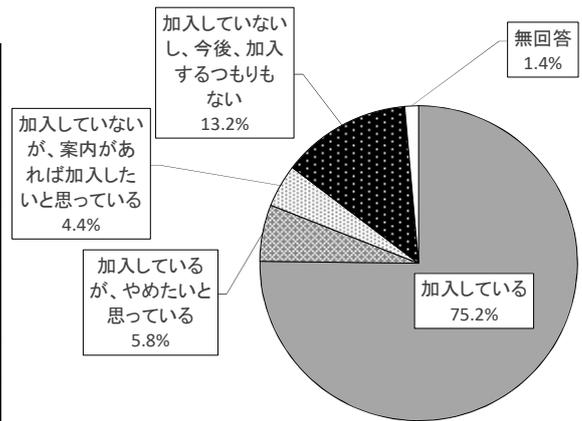
・「その他」にあった主な意見

高齢になったとき、家族のところに行くつもり
交通の便が悪く、他の地域へ行くのにストレスをとまなう
歩道・道路が狭く、日常的な移動に不安を感じる
税金が高い
町内会活動が負担
まちに活気がない

6. 自治会・町内会・区の加入状況

【全体】

	人数(人)	割合(%)
加入している	740	75.2
加入しているが、やめたいと思っている	57	5.8
加入していないが、案内があれば加入したいと思っている	43	4.4
加入していないし、今後、加入するつもりもない	130	13.2
無回答	14	1.4
全体	984	100.0



【居住年数別】

	人数(人)	割合(%)					無回答
		加入している	加入しているが、やめたいと思っている	加入していないが、案内があれば加入したいと思っている	加入していないし、今後、加入するつもりもない	無回答	
全体	984	75.2	5.8	4.4	13.2	1.4	
5年未満	92	44.6	4.3	14.1	34.8	2.2	
5年以上10年未満	95	63.1	7.4	6.3	22.1	1.1	
10年以上20年未満	165	76.5	4.8	3.6	12.7	2.4	
20年以上	621	81.2	6.0	2.9	8.9	1.0	



■ 加入している
 ▨ 加入しているが、やめたいと思っている
 ▩ 加入していないが、案内があれば加入したいと思っている
 ▪ 加入していないし、今後、加入するつもりもない
 □ 無回答

回答者のうち、「加入している」方の割合が75.2%となっている。
 居住年数別にみると、5年未満の方の加入割合が低く50%以下となっている一方、案内があれば加入したいと思っている方の割合が14.1%となっている。

【参考】実際の自治会加入率

平成 30 年(2018 年)5月末時点の佐倉市の自治会加入状況は、以下の通りとなっている。
本アンケート回答者の自治会加入率は 81.0%となっているが、実際の加入率は 70.0%となっている。
アンケート回答者における自治会加入率が現実より高いため、このアンケート調査結果は自治会加入者の意向がより色濃く出ている可能性がある。

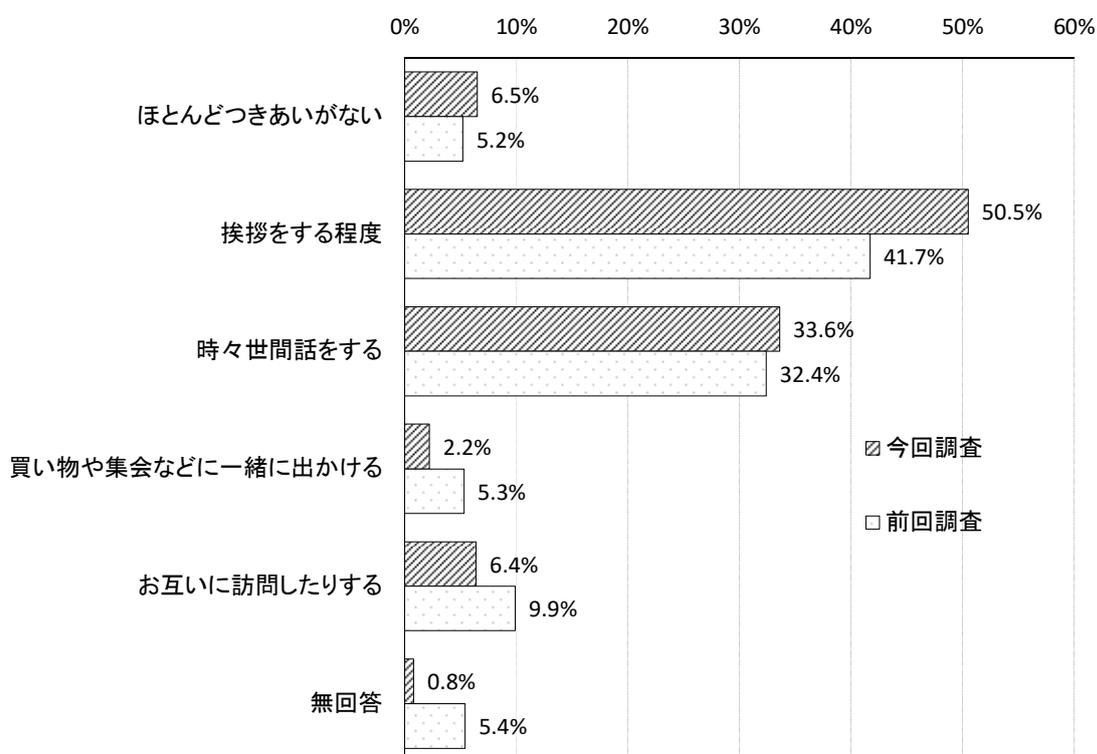
しかしその一方で、自治会加入者の中に一定数の退会意向者がいることや、居住して間もない市民に対して自治会加入の案内が十分でない可能性など、現実的な政策メッセージも読み取ることができる。

地 区	世 帯 数 (世帯)	自治会加入世帯数 (世帯)	自治会加入率 (%)
全体	77,008	53,892	70.0
佐倉地区	13,325	9,006	67.6
志津地区	32,944	23,769	72.2
臼井地区	13,576	9,976	73.5
根郷地区	11,467	6,937	60.5
和田地区	779	525	67.4
弥富地区	699	517	74.0
千代田地区	4,218	3,162	75.0

7. ご近所とのおつきあいの状況

【全体】

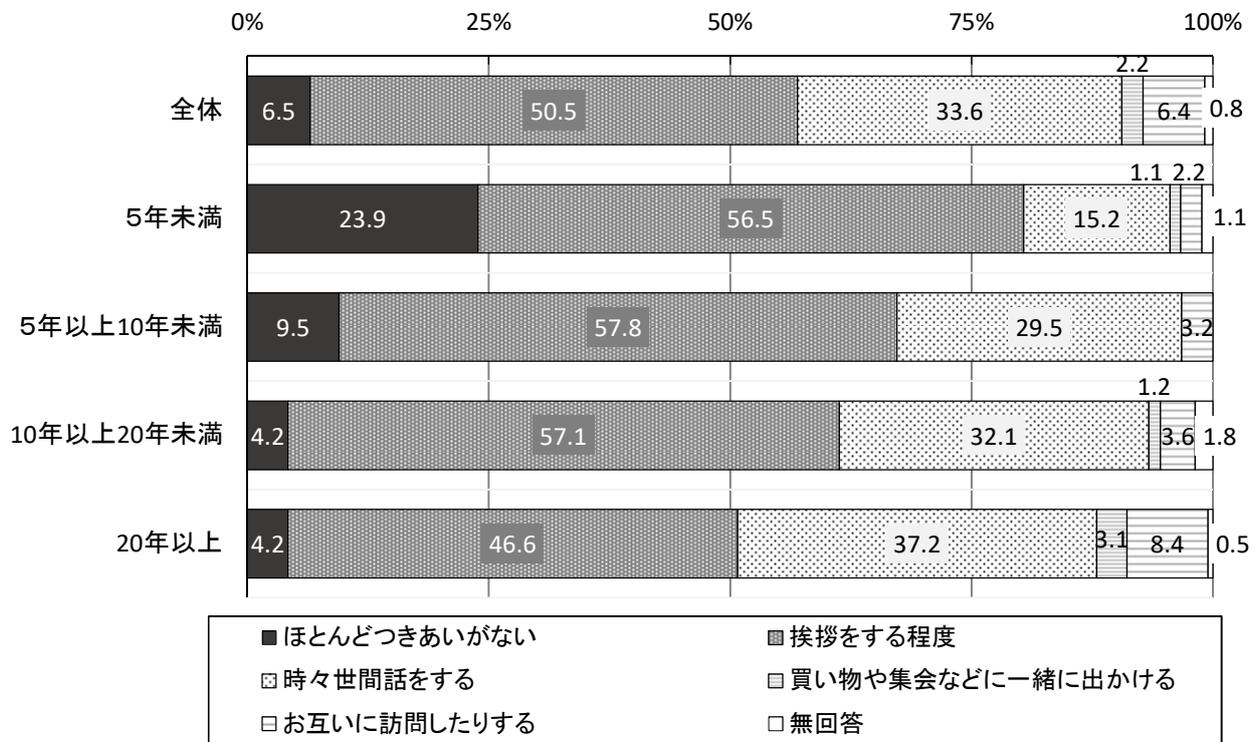
	人数(人)	割合(%)	前回調査(%)
ほとんどつきあがない	64	6.5	5.2
挨拶をする程度	496	50.5	41.7
時々世間話をする	331	33.6	32.4
買い物や集会などと一緒に出かける	22	2.2	5.3
お互いに訪問したりする	63	6.4	9.9
無回答	8	0.8	5.4
全体	984	100.0	100.0



回答者のうち、「挨拶をする程度」の方の割合が最も高く 50.5%となっている。
 前回調査と比較すると、「買い物や集会などと一緒に出かける」、「お互いに訪問したりする」の割合が低下しており、ご近所づきあいの希薄化が若干進行していると考えられる。

【居住年数別】

	人数(人)	割合(%)					
		ほとんどつきあいが ない	挨拶をする程度	時々世間話を する	買い物や集会など に一緒に出かける	お互いに訪問 したりする	無回答
全体	984	6.5	50.5	33.6	2.2	6.4	0.8
5年未満	92	23.9	56.5	15.2	1.1	2.2	1.1
5年以上 10年未満	95	9.5	57.8	29.5	0.0	3.2	0.0
10年以上 20年未満	165	4.2	57.1	32.1	1.2	3.6	1.8
20年以上	621	4.2	46.6	37.2	3.1	8.4	0.5



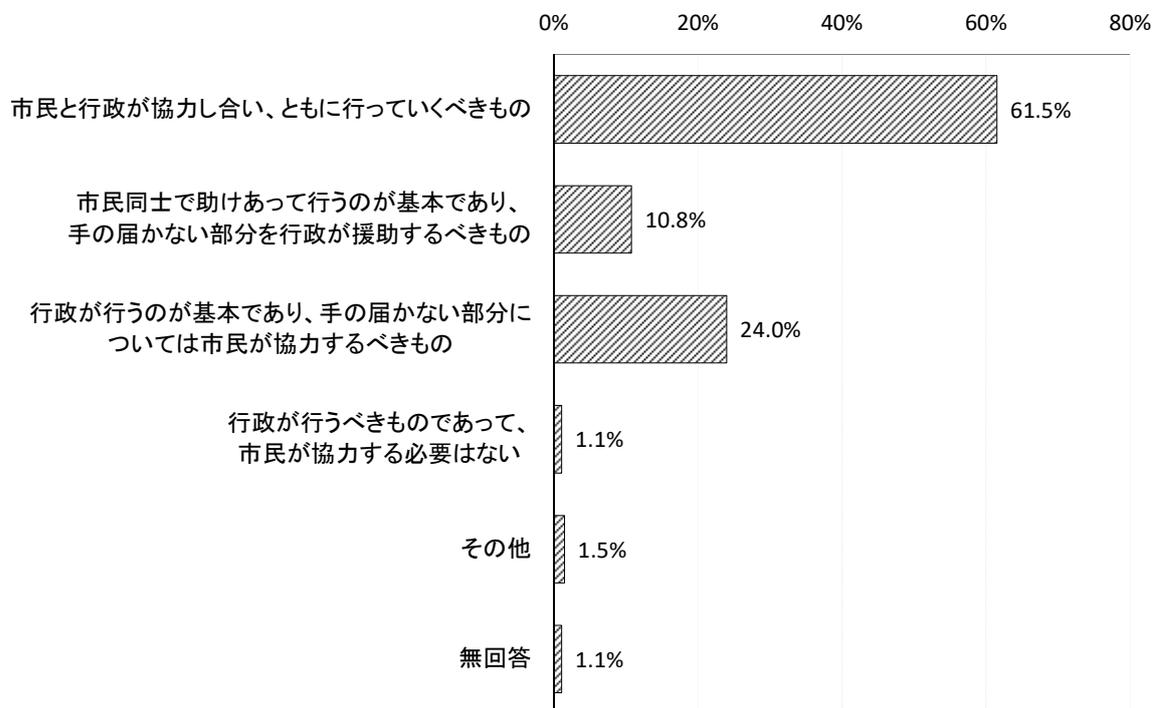
居住年数別にみると、5年未満の居住年数の方の「ほとんどつきあいがなく」割合が 23.9%となっている。居住年数が長くなるにつれ、ご近所づきあいは密になる傾向がみられる。

社会的孤立のおそれがある「ほとんどつきあいがなく」方の割合は、居住年数が 10 年以上 20 年未満の方と 20 年以上の方の間ではあまり差はみられず、10 年以上居住している方については孤立リスクと居住年数の相関は薄くなると考えられる。

8. まちづくりは、主に誰がやるべきものか

【全体】

	人数(人)	割合(%)
市民と行政が協力し合い、ともに行っていくべきもの	605	61.5
市民同士で助けあって行うのが基本であり、手の届かない部分を行政が援助するべきもの	106	10.8
行政が行うのが基本であり、手の届かない部分については市民が協力するべきもの	236	24.0
行政が行うべきものであって、市民が協力する必要はない	11	1.1
その他	15	1.5
無回答	11	1.1
全体	984	100.0



回答者のうち、「市民と行政が協力し合い、ともに行っていくべきもの」と回答した方の割合が最も高く61.5%となっているのに対し、「行政が行うのが基本であり、手の届かない部分については市民が協力すべきもの」と回答した方の割合が次いで高く24.0%となっている。

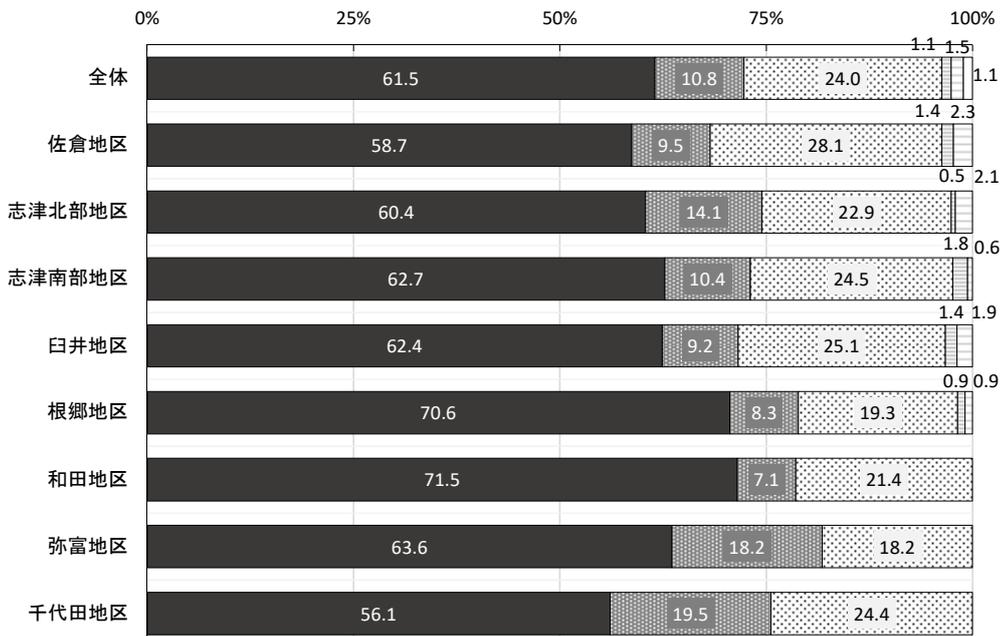
・「その他」にあった主な意見

取組みは市民と行政の協働でよいが、長期的なビジョンは行政からの投げかけが必要。

行政が行うべきもので、市民の意向を十分に反映することが必要。

【地区別】

	人数(人)	割合(%)					
		市民と行政が協力し合い、 ともに行っていくべきもの	市民同士で助けあって行う のが基本であり、 手の届かない部分を行政が 援助するべきもの	行政が行うのが基本で あり、手の届かない部分に ついては市民が協力する べきもの	行政が行うべきものであ つて、市民が協力する必要は ない	その他	無回答
全体	984	61.5	10.8	24.0	1.1	1.5	1.1
佐倉地区	221	58.7	9.5	28.1	1.4	2.3	0.0
志津北部地区	192	60.4	14.1	22.9	0.5	2.1	0.0
志津南部地区	163	62.7	10.4	24.5	1.8	0.6	0.0
臼井地区	207	62.4	9.2	25.1	1.4	1.9	0.0
根郷地区	109	70.6	8.3	19.3	0.9	0.9	0.0
和田地区	14	71.5	7.1	21.4	0.0	0.0	0.0
弥富地区	22	63.6	18.2	18.2	0.0	0.0	0.0
千代田地区	41	56.1	19.5	24.4	0.0	0.0	0.0



- 市民と行政が協力し合い、ともに行っていくべきもの
- ▨ 市民同士で助けあって行うのが基本であり、手の届かない部分を行政が援助するべきもの
- ▧ 行政が行うのが基本であり、手の届かない部分については市民が協力するべきもの
- ▩ 行政が行うべきものであって、市民が協力する必要はない
- その他
- 無回答

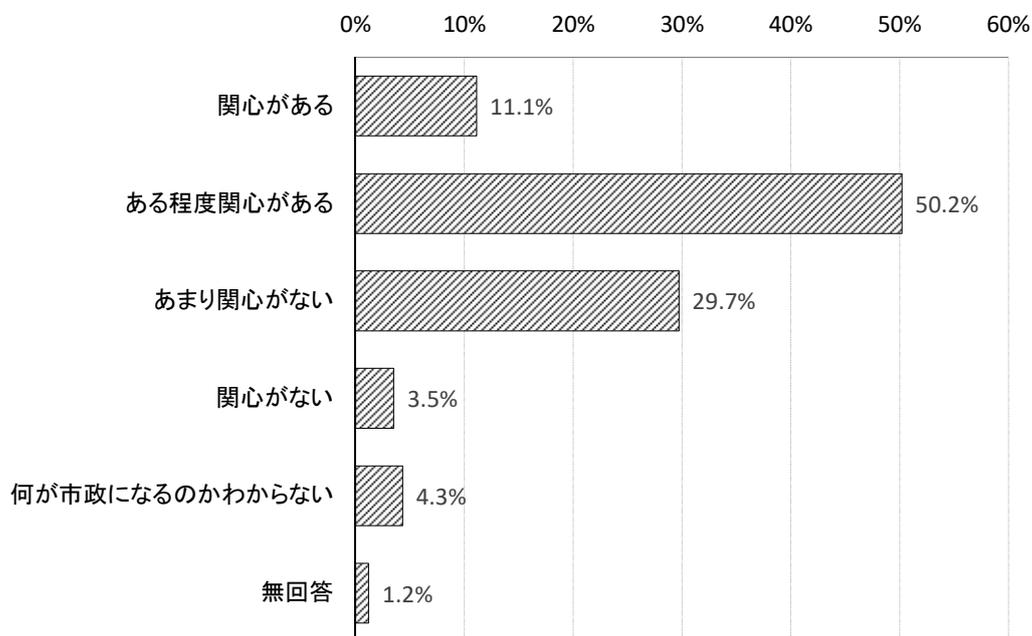
地区別にみると、まちづくりを市民同士で行うのが基本と考える割合は弥富地区が最も高く、また、市民と行政が協力して行うものとする割合が根郷地区、和田地区で高くなっており、全体的に市内の南部においてまちづくりへの参画意識が高く表れている。

(3) 市政について - 調査票問3

1. 市政にどの程度関心があるか

【全体】

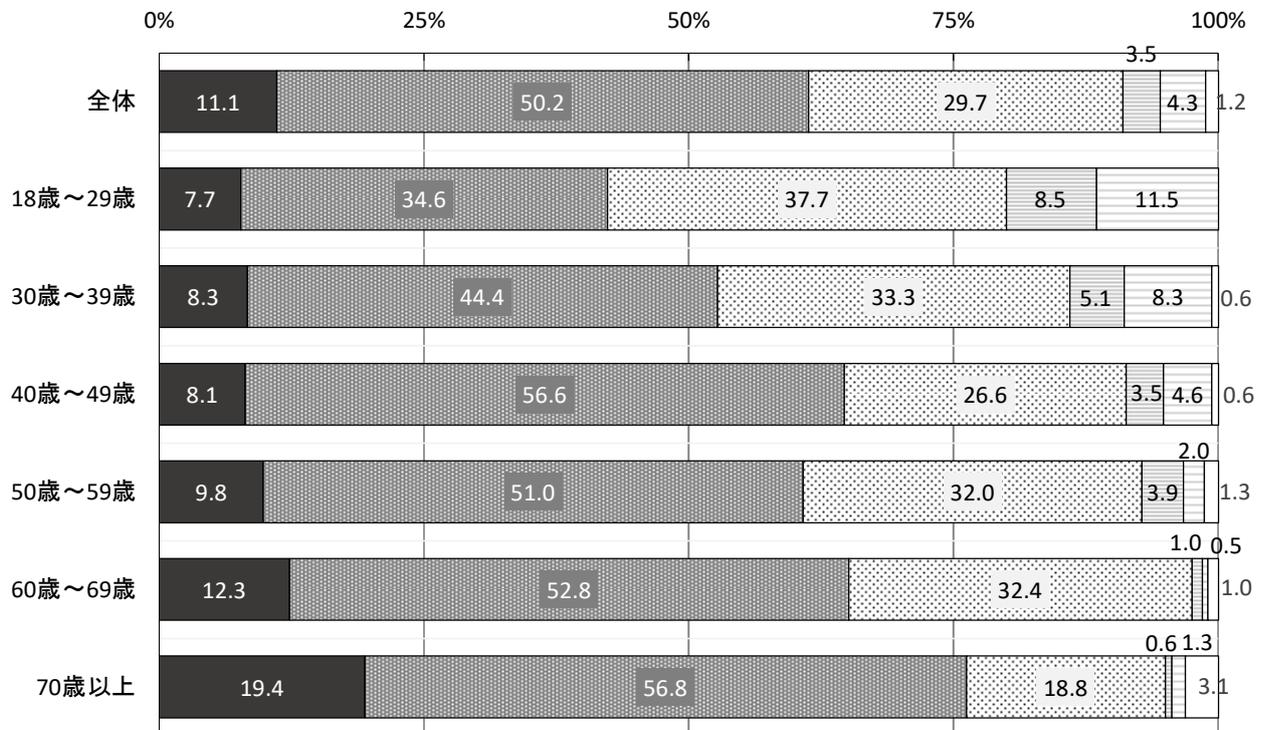
	人数(人)	割合(%)
関心がある	109	11.1
ある程度関心がある	495	50.2
あまり関心がない	292	29.7
関心がない	34	3.5
何が市政になるのかわからない	42	4.3
無回答	12	1.2
全体	984	100.0



回答者のうち、市政に関心がある方の割合(「関心がある」と「ある程度関心がある」の合計)は61.3%となっている。

【年齢層別】

	人数(人)	割合(%)					
		関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	関心がない	何が市政になるのかわからない	無回答
全体	984	11.1	50.2	29.7	3.5	4.3	1.2
18歳～29歳	130	7.7	34.6	37.7	8.5	11.5	0.0
30歳～39歳	156	8.3	44.4	33.3	5.1	8.3	0.6
40歳～49歳	173	8.1	56.6	26.6	3.5	4.6	0.6
50歳～59歳	153	9.8	51.0	32.0	3.9	2.0	1.3
60歳～69歳	204	12.3	52.8	32.4	1.0	0.5	1.0
70歳以上	160	19.4	56.8	18.8	0.6	1.3	3.1



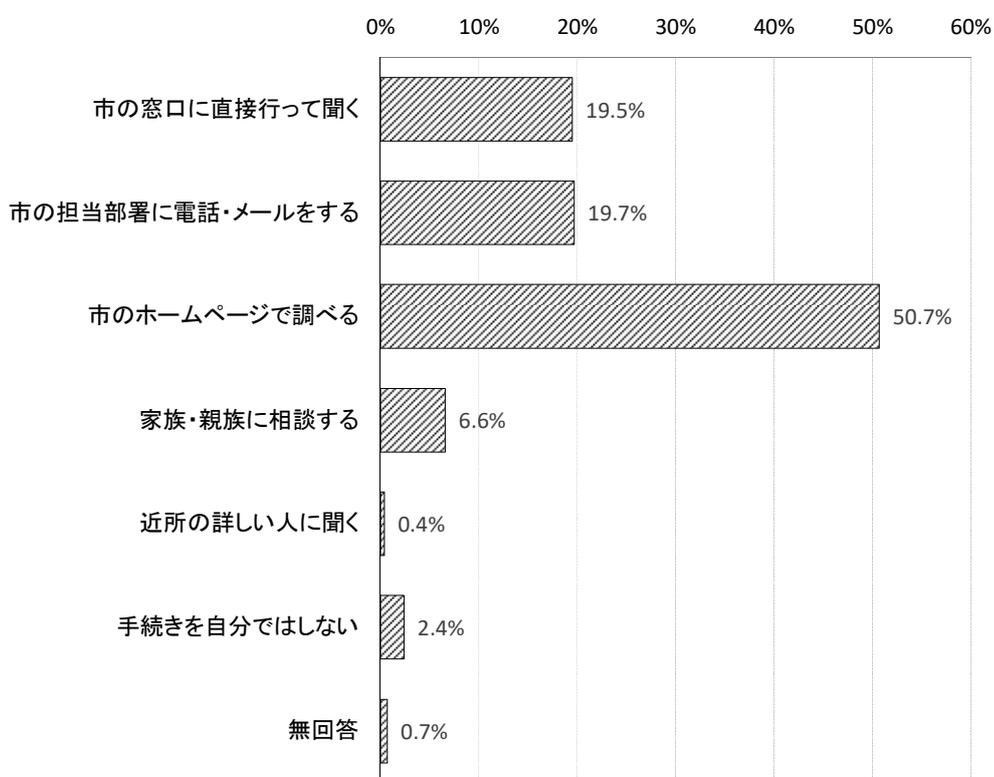
■ 関心がある ■ ある程度関心がある □ あまり関心がない □ 関心がない □ 何が市政になるのかわからない □ 無回答

年齢層別にみると、18歳～29歳の市政への関心(「関心がある」と「ある程度関心がある」の合計)が特に低く42.3%となっている。

2. 行政に関する手続きなどの情報を、何で得るか

【全体】

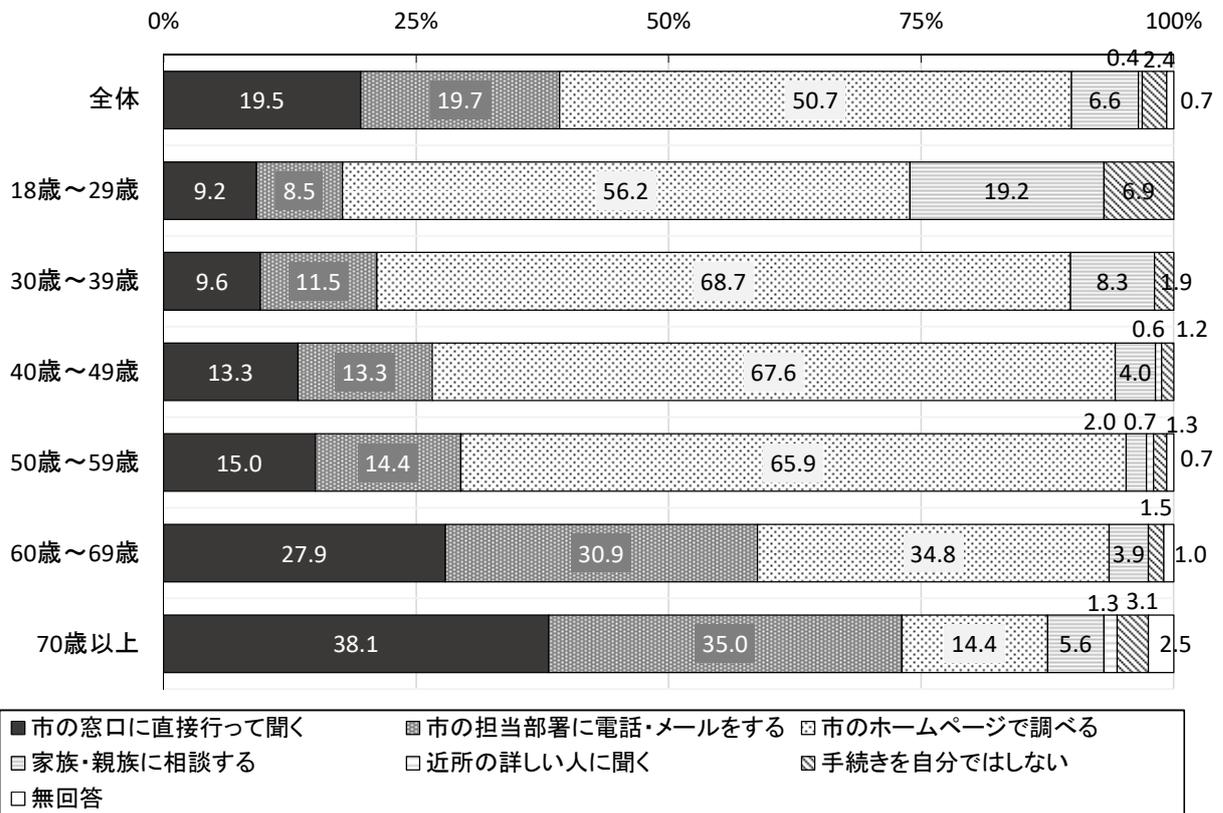
	人数(人)	割合(%)
市の窓口に直接行って聞く	192	19.5
市の担当部署に電話・メールをする	194	19.7
市のホームページで調べる	498	50.7
家族・親族に相談する	65	6.6
近所の詳しい人に聞く	4	0.4
手続きを自分ではしない	24	2.4
無回答	7	0.7
全体	984	100.0



回答者のうち、「市のホームページで調べる」と回答した方の割合が最も高く 50.7%となっている。

【年齢層別】

	人数(人)	割合(%)						
		市の窓口 に行って聞く	市の担当 部署に 電話・メール をする	市のホーム ページ で調べる	家族・親 族に 相談する	近所の詳 しい人 に聞く	手続 きを自 分では しない	無回 答
全体	984	19.5	19.7	50.7	6.6	0.4	2.4	0.7
18歳～29歳	130	9.2	8.5	56.2	19.2	0.0	6.9	0.0
30歳～39歳	156	9.6	11.5	68.7	8.3	0.0	1.9	0.0
40歳～49歳	173	13.3	13.3	67.6	4.0	0.6	1.2	0.0
50歳～59歳	153	15.0	14.4	65.9	2.0	0.7	1.3	0.7
60歳～69歳	204	27.9	30.9	34.8	3.9	0.0	1.5	1.0
70歳以上	160	38.1	35.0	14.4	5.6	1.3	3.1	2.5

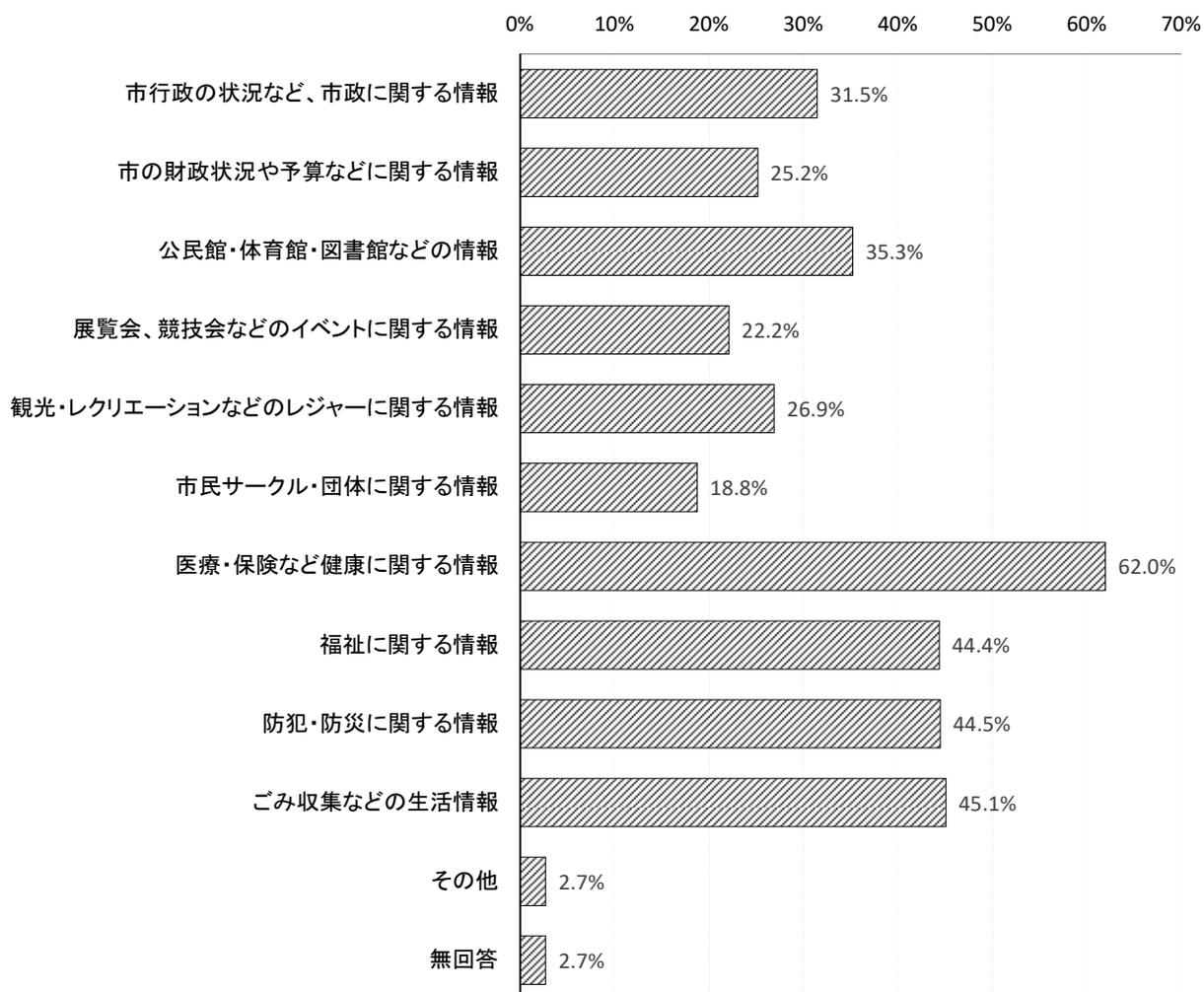


年齢層別にみると、市のホームページで情報を得る方の割合は、60歳を超えると低下する傾向がみられる。

3. 市から情報公開してほしいもの

【全体】

	人数(人)	割合(%)
市行政の状況など、市政に関する情報	310	31.5
市の財政状況や予算などに関する情報	248	25.2
公民館・体育館・図書館などの情報	347	35.3
展覧会、競技会などのイベントに関する情報	218	22.2
観光・レクリエーションなどのレジャーに関する情報	265	26.9
市民サークル・団体に関する情報	185	18.8
医療・保険など健康に関する情報	610	62.0
福祉に関する情報	437	44.4
防犯・防災に関する情報	438	44.5
ごみ収集などの生活情報	444	45.1
その他	27	2.7
無回答	27	2.7
回答者数	984	



【地区別】

	人数(人)	割合(%)											
		市政に関する情報	市の財政状況や予算などに関する情報	公民館・体育館・図書館などの情報	展覧会、競技会などのイベントに関する情報	観光・レクリエーションなどのレジャーに関する情報	市民サークル・団体に 関する情報	医療・保険など健康に関する情報	福祉に関する情報	防犯・防災に関する情報	ごみ収集などの生活情報	その他	無回答
全体	984	31.5	25.2	35.3	22.2	26.9	18.8	62.0	44.4	44.5	45.1	2.7	2.7
佐倉地区	221	29.9	21.7	33.9	25.8	30.3	23.1	58.4	43.0	41.2	42.5	3.2	0.9
志津北部地区	192	30.2	26.6	39.1	25.0	29.2	14.1	60.9	44.8	46.4	46.9	2.1	2.1
志津南部地区	163	31.3	25.8	33.1	21.5	24.5	17.8	68.1	45.4	47.2	45.4	2.5	1.2
臼井地区	207	36.2	26.6	37.2	20.3	28.5	20.8	65.2	45.4	39.1	41.1	3.4	4.3
根郷地区	109	26.6	27.5	34.9	22.9	25.7	20.2	66.1	46.8	56.0	53.2	3.7	4.6
和田地区	14	64.3	28.6	28.6	7.1	14.3	14.3	57.1	42.9	50.0	35.7	0.0	7.1
弥富地区	22	18.2	9.1	40.9	13.6	18.2	9.1	59.1	40.9	54.5	63.6	0.0	4.5
千代田地区	41	29.3	34.1	29.3	14.6	12.2	14.6	48.8	39.0	36.6	46.3	2.4	2.4

回答者のうち、「医療・保険など健康に関する情報」と回答した方の割合が最も高く62.0%となっており、次いで「ごみ収集などの生活情報」、「防犯・防災に関する情報」、「福祉に関する情報」の順に割合が高くなっている。

地区別にみると、和田地区・弥富地区において、他地区と異なる情報ニーズがみられる。また、根郷地区、和田地区、弥富地区の市内の南部地区において「防犯・防災に関する情報」と回答した方が、市内の北部の各地区よりも割合が高くなっている。

・「その他」にあった主な意見

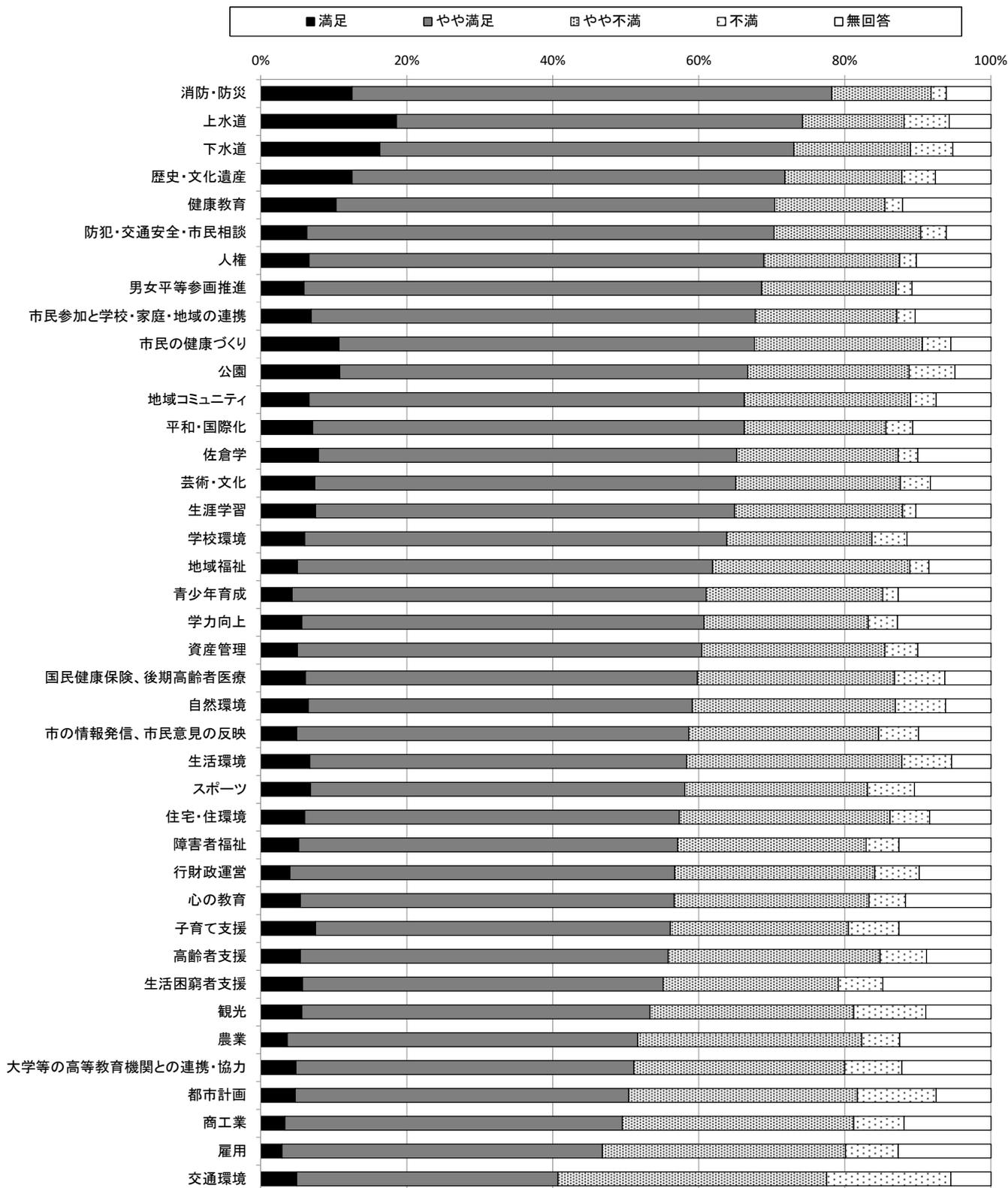
学校行事。
まちづくりの将来構想、開発計画
印旛地域振興事務所の情報もあるといい。

(4)各施策の満足度・重要度 - 調査票問4

■満足度

		満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
I 保健・福祉	1. 地域福祉	5.0	56.9	27.0	2.6	8.5
	2. 市民の健康づくり	10.7	56.9	23.0	3.9	5.5
	3. 子育て支援	7.5	48.6	24.4	6.9	12.6
	4. 高齢者支援	5.4	50.4	29.0	6.4	8.8
	5. 障害者福祉	5.2	51.9	25.8	4.5	12.6
	6. 国民健康保険、後期高齢者医療	6.1	53.7	27.0	6.9	6.3
	7. 生活困窮者支援	5.7	49.4	24.0	6.1	14.8
II 環境 地域	1. 自然環境	6.5	52.6	27.8	6.9	6.2
	2. 生活環境	6.7	51.6	29.5	6.8	5.4
	3. 消防・防災	12.5	65.7	13.6	2.1	6.1
	4. 防犯・交通安全・市民相談	6.3	64.0	20.1	3.5	6.1
III 教育・スポーツ	1. 市民参加と学校・家庭・地域の連携	6.9	60.8	19.4	2.5	10.4
	2. 佐倉学	7.9	57.3	22.1	2.7	10.0
	3. 生涯学習	7.5	57.4	23.0	1.8	10.3
	4. 青少年育成	4.3	56.7	24.2	2.1	12.7
	5. 学校環境	6.0	57.8	19.9	4.8	11.5
	6. 学力向上	5.6	55.1	22.5	4.0	12.8
	7. 心の教育	5.4	51.2	26.7	5.0	11.7
	8. 健康教育	10.3	60.1	15.1	2.4	12.1
	9. スポーツ	6.8	51.3	25.0	6.4	10.5
	10. 大学等の高等教育機関との連携・協力	4.8	46.3	28.9	7.8	12.2
IV 文化 ・農業・産業	1. 農業	3.6	48.0	30.7	5.2	12.5
	2. 商工業	3.3	46.2	31.7	6.9	11.9
	3. 雇用	2.9	43.9	33.3	7.2	12.7
	4. 観光	5.6	47.7	27.9	9.9	8.9
	5. 歴史・文化遺産	12.5	59.3	16.0	4.6	7.6
	6. 芸術・文化	7.4	57.6	22.6	4.1	8.3
V 都市基盤	1. 都市計画	4.7	45.7	31.3	10.8	7.5
	2. 住宅・住環境	6.0	51.3	28.9	5.4	8.4
	3. 交通環境	4.9	35.8	36.8	17.0	5.5
	4. 上水道	18.6	55.6	13.9	6.2	5.7
	5. 下水道	16.3	56.7	16.0	5.8	5.2
	6. 公園	10.8	55.9	22.1	6.3	4.9
VI 行財政運営 地域コミュニティ	1. 地域コミュニティ	6.6	59.6	22.8	3.5	7.5
	2. 人権	6.6	62.3	18.6	2.3	10.2
	3. 男女平等参画推進	5.9	62.7	18.4	2.2	10.8
	4. 平和・国際化	7.1	59.1	19.4	3.7	10.7
	5. 市の情報発信、市民意見の反映	4.9	53.7	26.0	5.5	9.9
	6. 行財政運営	4.0	52.7	27.4	6.1	9.8
	7. 資産管理	5.0	55.4	25.1	4.5	10.0

施策満足度（「満足」、「やや満足」の割合の合計が高い順）



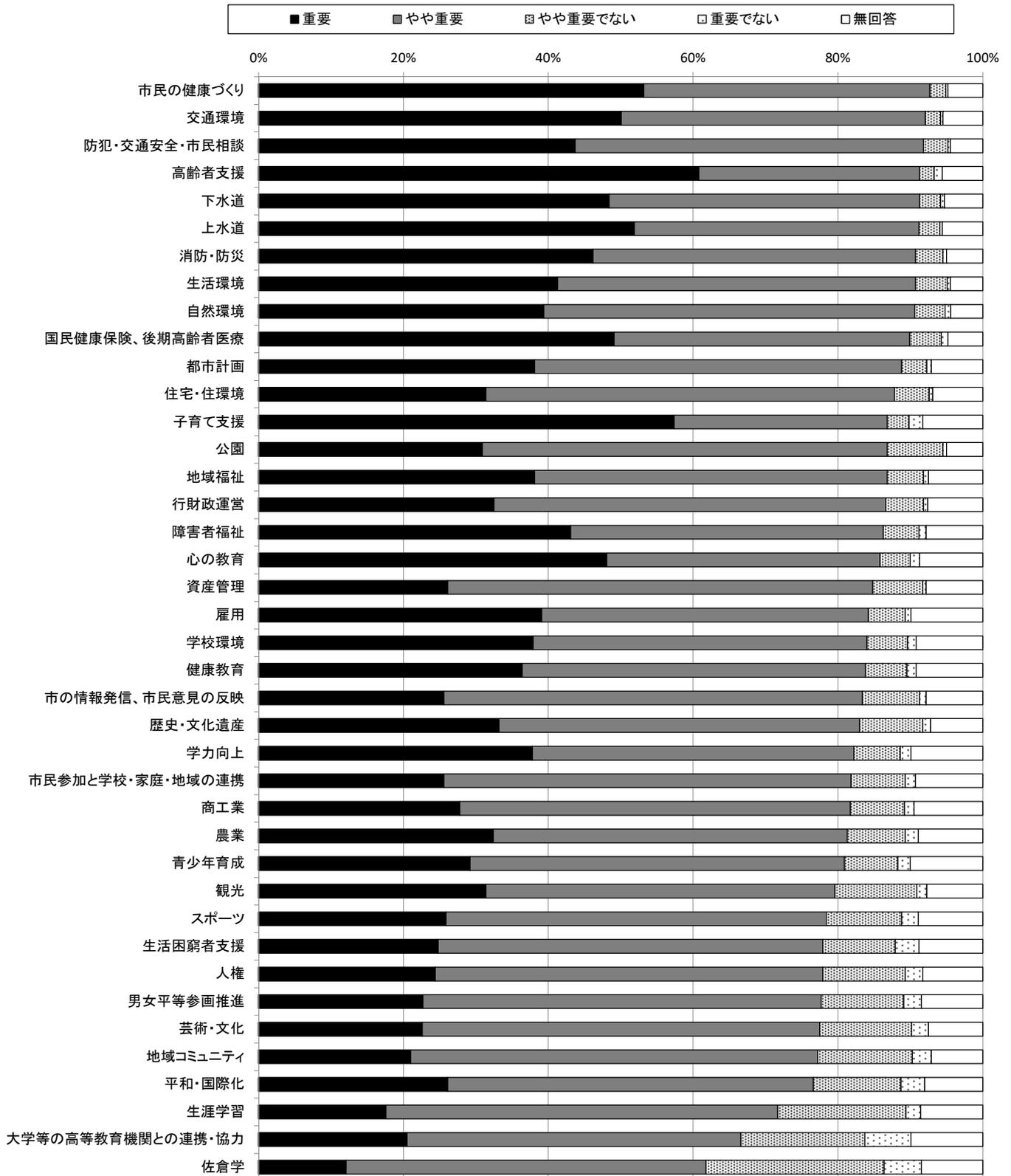
満足度（「満足」と「やや満足」の合計）は、「消防・防災」が最も高く、次いで「上水道」、「下水道」が高くなっている。

一方、満足度が最も低いのは「交通環境」で、次いで「雇用」、「商工業」となっている。特に「交通環境」については不満度（「やや不満」と「不満」の合計）が全施策の中で唯一 50%を超えている。

■重要度

		重要	やや重要	やや重要でない	重要でない	無回答
I 保健・福祉	1. 地域福祉	38.1	48.7	5.0	0.7	7.5
	2. 市民の健康づくり	53.2	39.5	2.2	0.3	4.8
	3. 子育て支援	57.4	29.4	3.0	1.9	8.3
	4. 高齢者支援	60.8	30.5	2.0	1.1	5.6
	5. 障害者福祉	43.1	43.2	4.9	1.0	7.8
	6. 国民健康保険、後期高齢者医療	49.1	40.8	4.4	0.9	4.8
	7. 生活困窮者支援	24.8	53.1	10.0	3.3	8.8
II 環境 地域	1. 自然環境	39.4	51.2	4.2	0.8	4.4
	2. 生活環境	41.3	49.4	4.4	0.4	4.5
	3. 消防・防災	46.2	44.5	3.8	0.5	5.0
	4. 防犯・交通安全・市民相談	43.7	48.1	3.4	0.3	4.5
III 教育・スポーツ	1. 市民参加と学校・家庭・地域の連携	25.6	56.2	7.5	1.4	9.3
	2. 佐倉学	12.1	49.7	24.6	5.1	8.5
	3. 生涯学習	17.6	54.1	17.7	2.0	8.6
	4. 青少年育成	29.2	51.7	7.4	1.7	10.0
	5. 学校環境	37.9	46.1	5.6	1.2	9.2
	6. 学力向上	37.8	44.4	6.4	1.5	9.9
	7. 心の教育	48.1	37.7	4.2	1.3	8.7
	8. 健康教育	36.4	47.4	5.7	1.3	9.2
	9. スポーツ	25.9	52.5	10.4	2.3	8.9
	10. 大学等の高等教育機関との連携・協力	20.5	46.1	17.1	6.4	9.9
IV 文化 農業・産業	1. 農業	32.4	48.9	8.0	1.8	8.9
	2. 商工業	27.8	53.9	7.5	1.3	9.5
	3. 雇用	39.1	45.1	5.1	0.8	9.9
	4. 観光	31.4	48.2	11.3	1.4	7.7
	5. 歴史・文化遺産	33.2	49.8	8.7	1.1	7.2
	6. 芸術・文化	22.6	54.9	12.7	2.3	7.5
V 都市基盤	1. 都市計画	38.1	50.7	3.5	0.6	7.1
	2. 住宅・住環境	31.4	56.4	4.8	0.5	6.9
	3. 交通環境	50.1	42.0	2.1	0.3	5.5
	4. 上水道	51.9	39.3	2.9	0.3	5.6
	5. 下水道	48.4	42.9	2.9	0.5	5.3
	6. 公園	30.9	55.9	7.7	0.5	5.0
VI 行財政運営 地域コミュニティ	1. 地域コミュニティ	21.0	56.2	13.1	2.6	7.1
	2. 人権	24.4	53.5	11.4	2.4	8.3
	3. 男女平等参画推進	22.7	55.0	11.4	2.4	8.5
	4. 平和・国際化	26.1	50.5	12.1	3.3	8.0
	5. 市の情報発信、市民意見の反映	25.6	57.8	7.9	0.9	7.8
	6. 行財政運営	32.5	54.1	5.2	0.6	7.6
	7. 資産管理	26.1	58.7	6.9	0.5	7.8

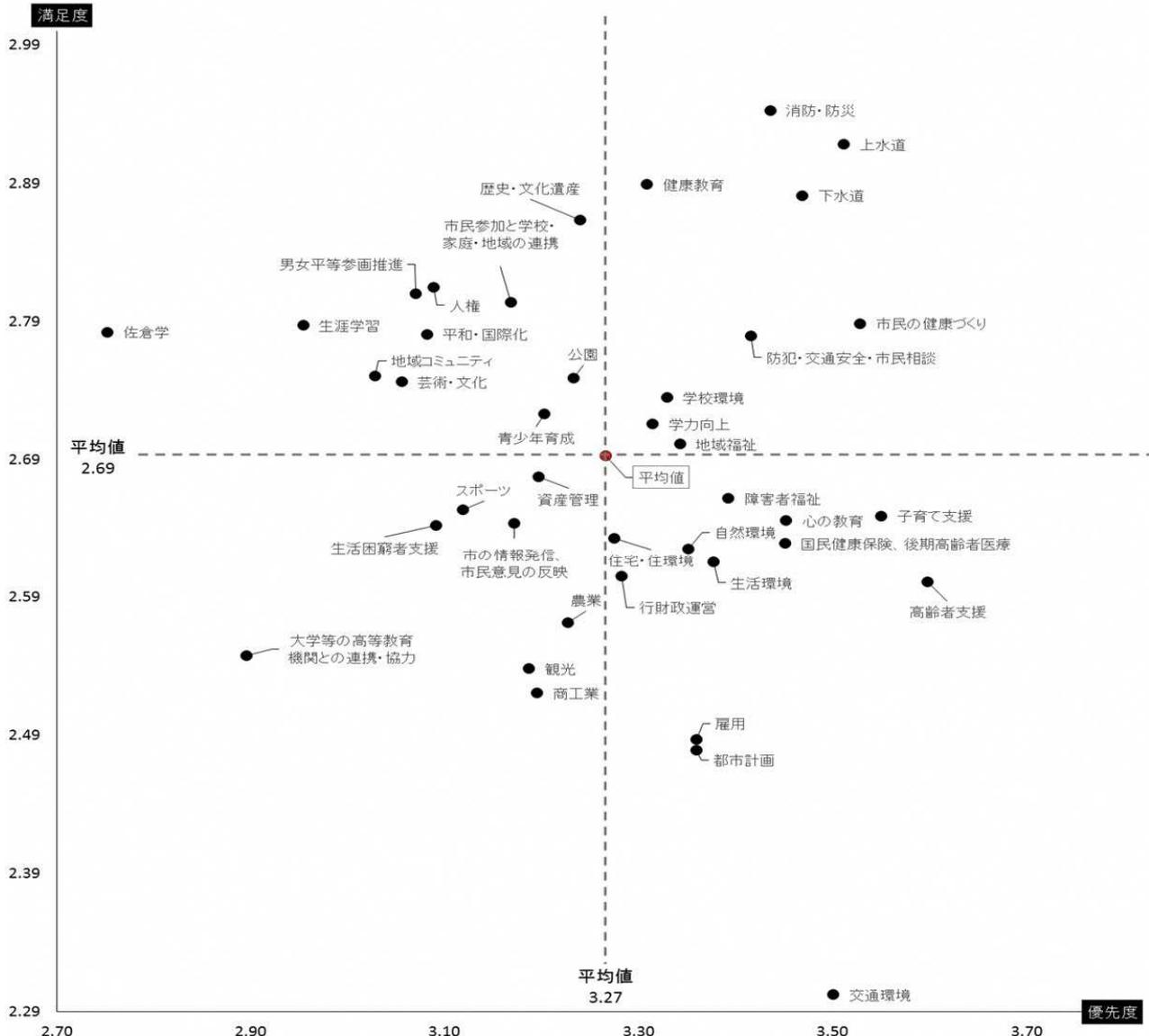
施策重要度（「重要」、「やや重要」の割合の合計が高い順）



重要度（「重要」と「やや重要」の合計）は、「市民の健康づくり」が最も高く、次いで「交通環境」、「防犯・交通安全・市民相談」が高くなっている。

一方、重要度が最も低いのは「佐倉学」で、次いで「大学等の高等教育機関との連携・協力」、「生涯学習」となっている。

CS分析



★グラフの見方

重要度は平均より低く 満足度は平均より高い	重要度が平均より高く 満足度も平均より高い
重要度は平均より低く 満足度も平均より低い	重要度は平均より高く 満足度は平均より低い 【重要改善項目】

点数について

満足(重要):4点

やや満足(やや重要):3点

やや不満(やや重要でない)

:2点

不満(重要でない):1点

として、各選択肢の点数をそれを回答した人数で乗じ、その合計を回答者総数(無回答者を除く)で除いたものを各施策の得点としている。

★重要改善項目に該当した施策

I 保健・福祉	子育て支援
	高齢者支援
	障害者福祉
	国民健康保険、後期高齢者医療
II 地域環境	自然環境
	生活環境
III 教育・スポーツ	心の教育
IV 農業・産業	雇用
V 都市基盤	都市計画
	住宅・住環境
	交通環境
VI 地域コミュニティ・行財政運営	行財政運営

満足度、重要度をそれぞれ点数化すると、特に重要改善度が高い(CS分析グラフの右下に位置している)のは「交通環境」となっている。

また、保健・福祉において重要改善項目に該当した施策が多く、4施策となっている。

・自由回答にあった主な意見(要約) ※表の数値は意見数

佐倉地区

I 保健・福祉			
保育園の充実	2	がん検診の一部無料化	1
地域福祉の充実	1	園庭開放に満足している	1
ボランティア情報の充実	1	子ども医療費の無料化	1
こども手当の要件への不満	1	地域包括支援センターの機能強化	1
多世代交流スペースの設置	1	高齢者の集いの場の増設	1
母親学級への要望（おむつの紹介）	1	高齢者の免許返納に向けた対応	1
食育への要望（地産地消）	1	福祉部局への感謝	1
ファミリーサポートセンターの低廉化	1	国民健康保険料の低廉化	1
病院の充実	1		
II 地域環境			
不法投棄への対応	3	印旛沼の環境保全	3
自然環境を活用した観光	1	自然環境保護の推進	1
安全なまちづくりの推進（防犯）	1	公衆トイレの維持管理	1
防災行政無線が聴こえない	1	災害時の連絡体系の周知	1
建物の耐震強化	1		
III 教育・スポーツ			
図書館の充実	2	自校給食に満足している	2
市民による学習支援	1	佐倉学に満足している	1
転入者に向けた佐倉学の推進	1	生涯学習の教室増設（建物）	1
学校教室へのエアコン設置	1	市民体育館のトレーニングルーム充実	1
校舎の修繕	1	大学誘致への肯定的意見	1
幼児教育への要望	1	大学誘致への否定的意見	1
道徳教育の教科書の精査	1		
IV 農業・産業・文化			
歴史を利用した佐倉市の魅力向上	5	京成佐倉駅前開発（商店の充実）	4
地産地消	1	休耕地対策（農地の流動化）	1
近隣に農産物直売所の設置	1	飲食店の充実	1
近隣の商店充実	1	オリンピックへの対応 （英語ボランティア、民泊）	1
印旛沼の観光資源としての活用	1	SNSを活用した広報の充実	1
V 都市基盤			
道路整備・渋滞緩和	9	街灯の増設	3
信号機の設置・充実	3	路線バス・コミュニティバスの充実	3
公園の増設	3	安全な用水路	1

都市整備部局の対応への感謝	1	上水道の整備（現在は井戸水）	1
歴史ある景観を維持した都市計画	1	下水道整備（污水対策）	1
空き家対策	1	公園に運動器具、ベンチの設置	1
道路排水	1	公園の維持管理	1
京成佐倉駅前に駐車場設置	1		
VI 地域コミュニティ・行財政運営			
町内会活動の見える化	1	広報誌への不満 （低コスト化、月2回配付）	1
祭りなどのイベントに満足している	1	地域活動団体の情報提供	1
自治会への不満	1	税込減への対応	1
行政職員の効率化	1	各種証明の市民サービスセンターでの 取扱い	1

志津北部地区

I 保健・福祉			
高齢者支援情報の充実	3	病児保育の拡充	2
社会的支援が必要な方の情報を各種団 体で共有	1	子育て支援の手当への感謝	1
西部保健センターでの（高齢者向け） 体操の実施	1	陣痛タクシーの確立	1
産婦人科の誘致	1	高齢者支援情報に満足している	1
チーパス（千葉県事業）の拡充	1	共生型の集いの場の設置	1
認可保育園の拡充（小規模保育への不 満）	1	障害者就労支援施設の充実	1
ショッピングセンターに高齢者のワン ストップ相談窓口設置	1	（東京都事例）ヘルプカードの導入	1
特別養護老人ホームの増設	1		
II 地域環境			
ゴミ収集対象の拡大	3	防災行政無線が聴こえない	2
不法投棄への対応	1	近隣のたき火への不満	1
路上喫煙への対応	1	防災情報不足への不満	1
生け垣整備の要望	1	防犯体制の充実	1
防犯体制に満足している	1		
III 教育・スポーツ			
大学誘致への否定的意見	3	図書館の充実	2
大学誘致への肯定的意見	2	スポーツ活動への支援の充実	2
近隣のスポーツ施設の設置	2	市教育委員会への不満	1
校舎の耐震化	1	中学校の授業内容への不満	1

高校に図書室の設置	1	スポーツフェスティバルに満足している	1
IV 農業・産業・文化			
企業誘致	2	商業施設の増加	2
観光企画の充実	2	市の農業政策への不満	1
農業ボランティア情報の充実	1	工業団地の整備	1
既存商店街の活性化	1	歴史を利用した佐倉市の魅力向上	1
V 都市基盤			
道路整備・渋滞緩和	10	京成ユーカリが丘駅を特急停車駅に	1
まちがきれい	1	コミュニティバスの路線検討	1
バス・電車の利便に満足している	1	上水道の整備（水が臭い）	1
公園の衛生環境維持	1		
VI 地域コミュニティ・行財政運営			
こうほう佐倉を配付してほしい	2	住民税等が高い	2
市長・市職員の給与水準への不満	2	自治会の維持が困難	1
自治会活動の負担軽減	1	国際交流の場創出	1
高齢者もわかりやすい情報発信	1	市職員の質の向上	1
防災行政無線の内容への不満	1	近隣に投票所の増設	1
こうほう佐倉に満足している	1	公園・駐車場の情報公開	1

志津南部地区

I 保健・福祉			
保育園の充実	2	風疹に関する検査・予防接種の助成	1
地域福祉の充実（地域共生の視点）	1	学童保育費用の低廉化	1
健診の利便向上	1	独居者への見守りの充実	1
高齢者の集いの場の会場確保が困難	1	障害者の社会的受容の向上	1
II 地域環境			
防災行政無線が聴こえない	4	ゴミ袋への要望	2
自然環境保護の推進	1	粗大ゴミの金額がよくわからない	1
ゴミ収集に満足している	1	ゴミの戸別回収	1
野良猫が心配（防疫）	1	防犯対策の充実	1
自動車解体業者への言及	1		
III 教育・スポーツ			
大学誘致への否定的意見	2	心の教育の充実	2
佐倉学の充実	1	学校教員の質の向上	1
図書館の充実	1	図書館に満足している	1
学校の衛生面の充実	1	公民館有料化への反対意見	1
学校教室へのエアコン設置	1	岩名球技場の改善	1

支援学級の人員充実	1	スポーツジムの設置	1
IV 農業・産業・文化			
歴史を利用した佐倉市の魅力向上	2	観光振興の充実	2
インバウンド観光の充実	1	歴史・文化の情報発信の充実（市民への）	1
V 都市基盤			
道路整備・渋滞緩和	6	ユーカリが丘のようなまちづくりを全市に拡充	2
公園の充実	2	適正な道路工事	1
市民の発信できる道路情報アプリ	1	路線バス・コミュニティバスの充実	1
水道料金の値上がりへの不満	1	公園の樹木の剪定	1
市民の公園利用についての不満（水道、ペット）	1		
VI 地域コミュニティ・行財政運営			
自治会活動への不満	2	情報発信の充実（市のホームページ）	2
住民税が高い	2	市長・市職員の給与水準への不満	2
回覧板は不要	1	住民票取得手続きの利便向上	1
市職員の対応に満足している	1	税務行政の事務処理向上	1
市職員の対応に不満	1		

臼井地区

I 保健・福祉			
学童保育の充実	2	福祉情報の発信（Web）	1
地域福祉の充実（地域共生の視点）	1	ボランティア活動の推進	1
ボランティア情報の充実	1	訪れやすい健康管理センター	1
自治会館を活用した体操教室	1	介護者支援の充実	1
自治会館の子育て支援のための活用	1	高齢者の集いの場の充実	1
保育園の利用料への不満	1	高齢者の移送サービスの創設	1
在宅医療の充実	1	高齢者の免許返納の促進	1
国民健康保険料督促への不満	1		
II 地域環境			
市のゴミ収集・分別に満足している	2	防災行政無線が聴こえない	2
印旛沼の環境保全	1	防災行政無線の放送内容への要望	1
鹿島川の治水対策	1		
III 教育・スポーツ			
図書館の充実	3	大学誘致への否定的意見	3
スポーツ施設の充実	2	小学校教室へのテレビの設置	1
社会教育としての佐倉学の推進	1	学校教室へのエアコン設置	1

集団登校の見直し	1	スポーツイベントの充実	1
スポーツイベントに満足している	1		
IV 農業・産業・文化			
イベントの充実	2	ふるさと広場の充実	2
江原台駅予定地付近の生活利便向上	1	就労環境の改善	1
娯楽施設の充実	1	企業誘致の推進	1
イベントの情報発信	1		
V 都市基盤			
道路整備・渋滞緩和	3	公園の充実（新設、健康器具の設置）	3
コミュニティバス開設に満足している	2	路線バスの低廉化	1
駅前活性化	1	京成線の特急停車駅増加	1
江原台駅の新設	1	水道料金への不満	1
街灯の設置	1	下水道の整備	1
コミュニティバスの利便向上	1	公園の樹木の剪定	1
経済活性化だけが都市のあり方ではない	1		
VI 地域コミュニティ・行財政運営			
自治会活動への支援強化	2	市出張所での事務手続きの拡充	2
こうほう佐倉を配付してほしい	2	インターネットを活用した情報発信	2
市長・市職員の給与水準への不満	2	平和についての啓発	1
自治会活動への不満	1	回覧板は不要	1
多文化交流の場	1	市職員の対応への不満	1
転入外国人のマナー	1	公共施設の利用案内の充実	1

根郷地区

I 保健・福祉			
多子世帯への支援拡充	1	高齢者の集いの場の充実	1
待機児童ゼロに満足している	1	医療の充実	1
II 地域環境			
新しい地区なので自治会がない （地域の課題を相談する場がない）	1	消費生活相談の回数拡充	1
防災行政無線よりSNSで発信を	1		
III 教育・スポーツ			
図書館の充実	2	大学誘致への肯定的意見	2
公民館活動の充実	1	小学校の環境整備	1
公民館有料化への反対意見	1		
IV 農業・産業・文化			
自然環境と調和したまちづくり	1	花火大会への否定的意見	1

高齢者の就労機会創出	1	歴史を利用した佐倉市の魅力向上	1
就労環境の向上	1		
V 都市基盤			
道路整備・渋滞緩和	5	公園の整備	3
駅前活性化	1	自治会の下水道溝清掃が負担	1
下水道の整備（現在合併処理浄化槽の方）	1	自治会がないので地域課題を相談できない	1
鉄道利便の向上	1	路線バス・コミュニティバスの充実	1
VI 地域コミュニティ・行財政運営			
アパート住民の自治会加入率の向上	1	こうほう佐倉に満足している	1
P T Aの参加範囲を拡充（地域住民の参加を促進、就労世帯の負担軽減）	1	行政・議会情報発信の拡充	1
転入外国人に対しての意見	1	市職員の給与水準の向上、責任の拡充	1
VII その他			
ボランティアでは安定した公共サービスの確保にはつながらないため、公共で対応する範囲を明確にすべき			

和田地区

II 地域環境			
防災行政無線が聴こえない			1
V 都市基盤			
道路整備	2	コミュニティバス路線への不満	1
上下水道の整備	1		

弥富地区

III 教育・スポーツ			
心の教育の充実			1
IV 農業・産業・文化			
農地の流動化			1
V 都市基盤			
デマンドバス廃止への不満	2	上水道の整備	1
コミュニティバスへの感謝	1		
VI 地域コミュニティ・行財政運営			
自治会の維持が困難	1	こうほう佐倉を配付してほしい	1
自治会費への不満	1		

千代田地区

I 保健・福祉			
地域福祉の充実（地域共生の視点）			1
II 地域環境			
消防団の統合			1
III 教育・スポーツ			
室内プールの設置	1	大学の 신설	1
IV 農業・産業・文化			
農業の担い手の確保（新規就農者だけでなく事業継承者にも補助）	1	観光拠点として模擬天守の創設	1
VI 地域コミュニティ・行財政運営			
税金の用途の見える化	1	千代田・染井野ふれあいセンターの活用	1

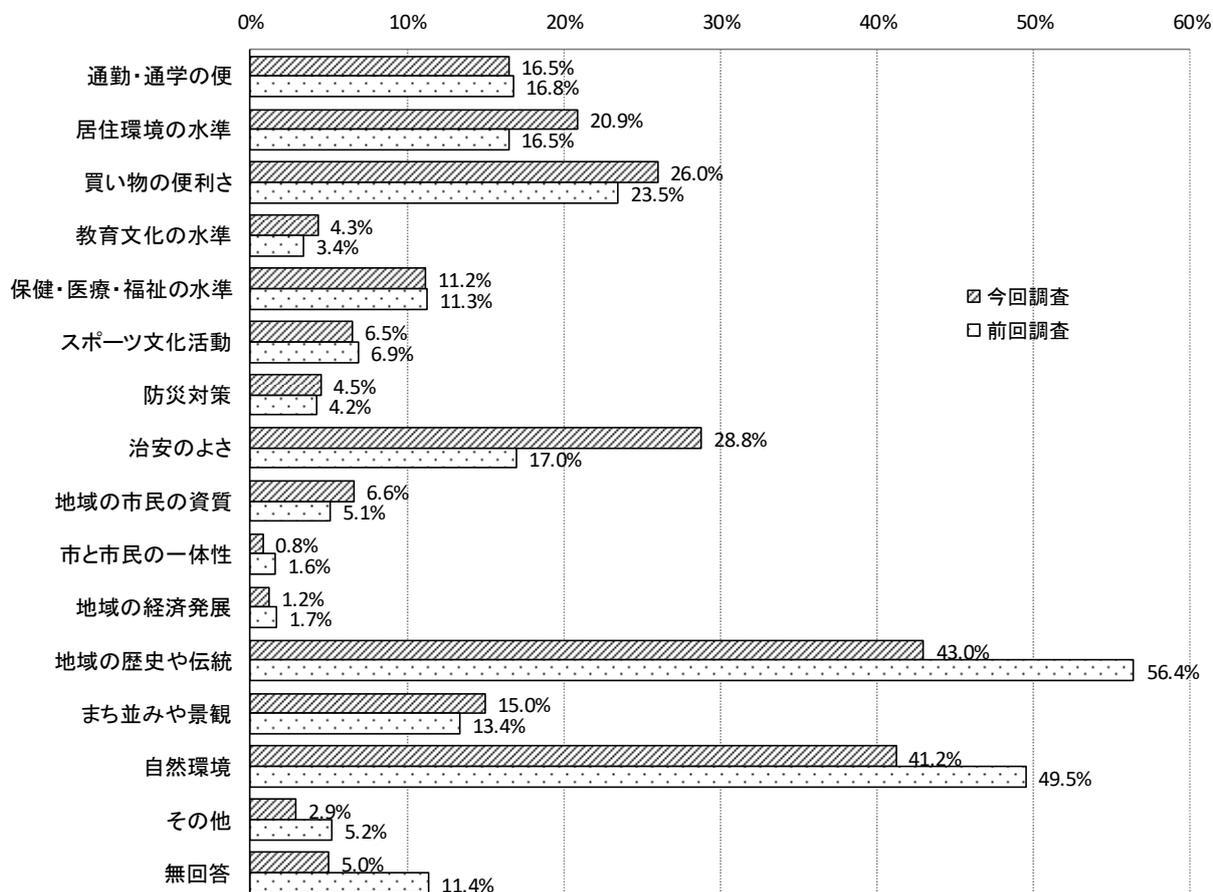
(5)佐倉市のイメージ - 調査票問5

1. 佐倉市で積極的に評価できるところ、または長所【全体】

	人数 (人)	割合 (%)	前回調査 (%)
通勤・通学の便	162	16.5	16.8
居住環境の水準	206	20.9	16.5
買い物の便利さ	256	26.0	23.5
教育文化の水準	42	4.3	3.4
保健・医療・福祉の水準	110	11.2	11.3
スポーツ文化活動	64	6.5	6.9
防災対策	44	4.5	4.2
治安のよさ	283	28.8	17.0
地域の市民の資質	65	6.6	5.1
市と市民の一体性	8	0.8	1.6
地域の経済発展	12	1.2	1.7
地域の歴史や伝統	423	43.0	56.4
まち並みや景観	148	15.0	13.4
自然環境	405	41.2	49.5
その他	29	2.9	5.2
無回答	49	5.0	11.4
回答者数	984		

回答者のうち、「地域の歴史や伝統」と回答した方の割合が最も高く、次いで「自然環境」の割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、「地域の歴史や伝統」、「自然環境」の割合が低下する一方、「居住環境の水準」、「買い物の便利さ」、「治安のよさ」の割合は向上しており、地域での住みよさへのイメージがより高くなっていると考えられる。

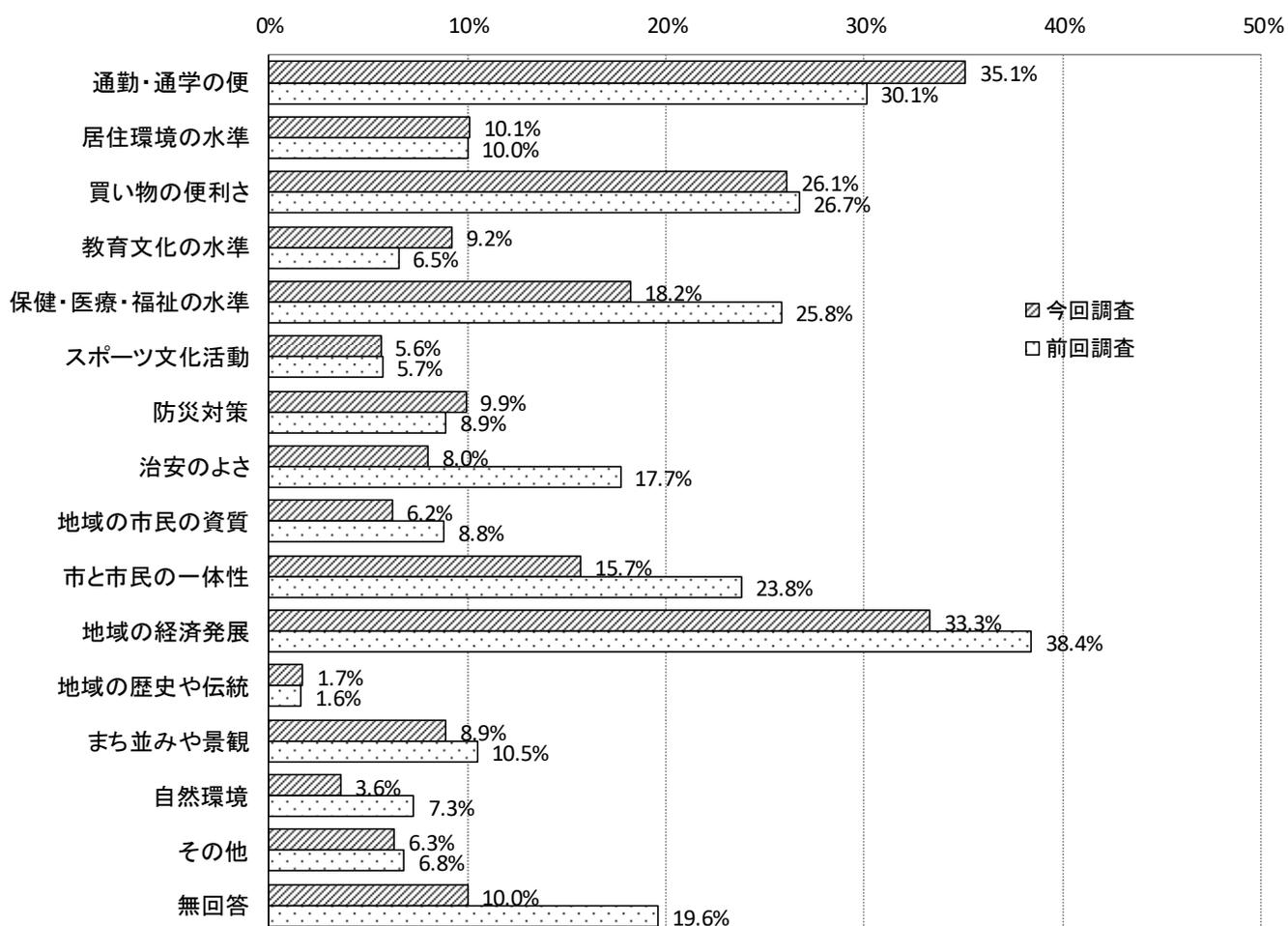


2. 佐倉市で積極的に評価できないところ、または短所【全体】

	人数 (人)	割合 (%)	前回調査 (%)
通勤・通学の便	345	35.1	30.1
居住環境の水準	99	10.1	10.0
買い物の便利さ	257	26.1	26.7
教育文化の水準	91	9.2	6.5
保健・医療・福祉の水準	179	18.2	25.8
スポーツ文化活動	55	5.6	5.7
防災対策	97	9.9	8.9
治安のよさ	79	8.0	17.7
地域の市民の資質	61	6.2	8.8
市と市民の一体性	154	15.7	23.8
地域の経済発展	328	33.3	38.4
地域の歴史や伝統	17	1.7	1.6
まち並みや景観	88	8.9	10.5
自然環境	35	3.6	7.3
その他	62	6.3	6.8
無回答	98	10.0	19.6
回答者数	984		

回答者のうち、「地域の経済発展」と回答した方の割合が最も高く、次いで「通勤・通学の便」の割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、「保健・医療・福祉の水準」、「治安のよさ」、「市と市民の一体性」、「地域の経済発展」については低下がみられ、これらについての市民のイメージが改善していると考えられる。一方で、「通勤・通学の便」については向上しており、佐倉市の短所と考える方が増加していると考えられる。



1. 佐倉市で積極的に評価できるところ、または長所【地区別】

	人数(人)	割合(%)							
		通勤・通学の便	居住環境の水準	買い物の便利さ	教育文化の水準	保健・医療・福祉の水準	スポーツ文化活動	防災対策	治安のよさ
全体	984	16.5	20.9	26.0	4.3	11.2	6.5	4.5	28.8
佐倉地区	221	19.9	14.5	13.6	4.5	9.5	7.7	7.2	29.4
志津北部地区	192	16.7	27.6	39.6	6.3	5.2	5.2	5.7	28.1
志津南部地区	163	19.6	23.3	28.8	0.0	11.7	7.4	3.7	31.3
臼井地区	207	13.0	24.2	28.5	3.4	15.9	5.8	2.9	26.6
根郷地区	109	15.6	18.3	26.6	5.5	8.3	5.5	0.9	23.9
和田地区	14	0.0	0.0	21.4	0.0	14.3	0.0	0.0	28.6
弥富地区	22	0.0	13.6	9.1	4.5	22.7	0.0	9.1	31.8
千代田地区	41	22.0	19.5	22.0	12.2	24.4	7.3	0.0	39.0

	人数(人)	割合(%)							
		地域の市民の資質	市と市民の一体性	地域の経済発展	地域の歴史や伝統	まち並みや景観	自然環境	その他	無回答
全体	984	6.6	0.8	1.2	43.0	15.0	41.2	2.9	5.0
佐倉地区	221	5.9	0.9	1.4	51.1	13.1	43.0	2.7	5.4
志津北部地区	192	7.3	1.0	1.6	34.4	14.1	30.7	4.7	3.6
志津南部地区	163	4.9	0.6	0.6	37.4	16.0	35.0	1.2	4.9
臼井地区	207	7.2	0.5	1.0	42.0	13.0	49.3	2.9	4.3
根郷地区	109	6.4	0.9	0.9	56.9	18.3	45.9	3.7	4.6
和田地区	14	21.4	0.0	0.0	28.6	7.1	14.3	7.1	35.7
弥富地区	22	0.0	4.5	9.1	31.8	13.6	63.6	0.0	4.5
千代田地区	41	9.8	0.0	0.0	43.9	31.7	51.2	0.0	0.0

地区別にみると、「通勤・通学の便」を回答した方は、和田地区、弥富地区にはいませんでした。「居住環境の水準」については志津北部地区、臼井地区、志津南部地区の順に高く、市内の北西部の居住環境へのイメージがよいことが分かります。「地域の歴史や伝統」については、根郷地区、佐倉地区の順に高くなっています。

2. 佐倉市で積極的に評価できないところ、または短所【地区別】

	人数(人)	割合(%)							
		通勤・通学の便	居住環境の水準	買い物の便利さ	教育文化の水準	保健・医療・福祉の水準	スポーツ文化活動	防災対策	治安のよさ
全体	984	35.1	10.1	26.1	9.2	18.2	5.6	9.9	8.0
佐倉地区	221	29.4	13.6	43.0	7.2	18.6	1.8	9.5	9.0
志津北部地区	192	38.5	10.4	14.1	12.5	21.4	9.4	10.4	6.3
志津南部地区	163	33.1	9.8	14.1	10.4	16.6	4.9	11.7	8.6
臼井地区	207	32.9	8.7	27.1	9.7	19.8	6.3	8.7	8.7
根郷地区	109	32.1	3.7	24.8	6.4	16.5	3.7	7.3	9.2
和田地区	14	42.9	21.4	28.6	7.1	7.1	0.0	21.4	0.0
弥富地区	22	90.9	18.2	50.0	4.5	0.0	9.1	0.0	4.5
千代田地区	41	46.3	4.9	24.4	7.3	17.1	9.8	17.1	7.3

	人数(人)	割合(%)							
		地域の市民の資質	市と市民の一体性	地域の経済発展	地域の歴史や伝統	まち並みや景観	自然環境	その他	無回答
全体	984	6.2	15.7	33.3	1.7	8.9	3.6	6.3	10.0
佐倉地区	221	3.6	14.9	34.4	1.4	15.4	3.6	4.5	8.6
志津北部地区	192	6.3	16.1	27.6	4.2	7.8	4.7	5.7	8.9
志津南部地区	163	4.3	13.5	28.8	1.2	6.1	2.5	8.0	15.3
臼井地区	207	11.1	15.9	35.3	1.0	8.7	4.3	6.3	9.7
根郷地区	109	5.5	18.3	45.0	0.0	9.2	2.8	8.3	9.2
和田地区	14	0.0	0.0	21.4	0.0	0.0	0.0	14.3	21.4
弥富地区	22	4.5	13.6	13.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
千代田地区	41	4.9	22.0	46.3	0.0	2.4	2.4	4.9	7.3

地区別にみると、「通勤・通学の便」を回答した方の割合は、弥富地区において特に高くなっています。「居住環境の水準」についても和田地区、弥富地区が高く、市内の南部において、住みやすさへのイメージがよくないと考えられます。一方で、「保健・医療・福祉の水準」は、志津北部地区、臼井地区、佐倉地区の順に高く、市内の北部においてのイメージが特によくないと考えられます。「地域の経済発展」については、千代田地区、根郷地区の順に高くなっています。

・「その他」にあった主な意見

長所

人ごみが多くなく、住みよい
騒がしくないところ
4年制の市民カレッジは全国に誇れるもの

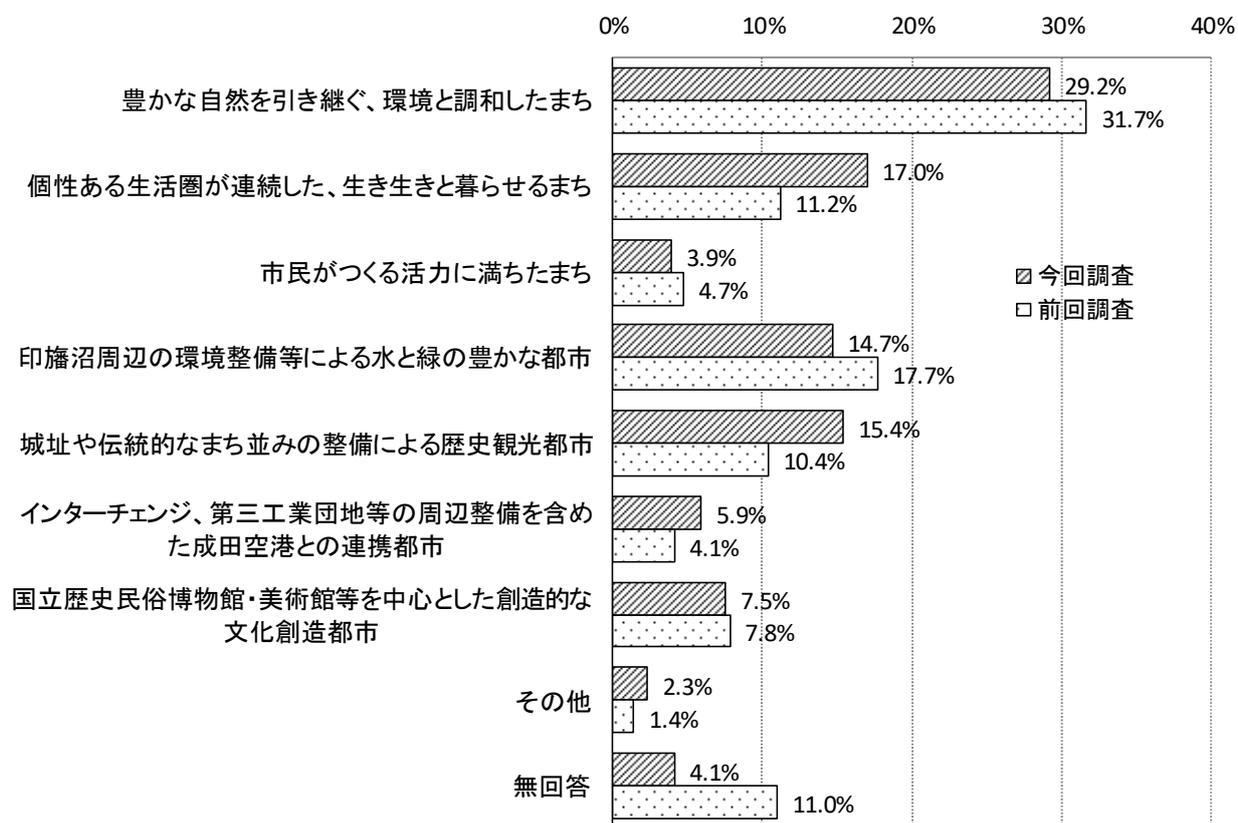
短所

歴史や伝統をまちの魅力につなげられていない
歩道が危険な場所が多すぎる 道路整備が進んでいない
各所の渋滞がひどい
京成の特急停車駅がもっとあるといい
駅前が寂しい
子育て支援が充実していない
税金が高い

3. 佐倉市の特色を活かした今後の都市づくり

【全体】

	人数(人)	割合(%)	前回調査(%)
豊かな自然を引き継ぐ、環境と調和したまち	287	29.2	31.7
個性ある生活圏が連続した、生き生きと暮らせるまち	167	17.0	11.2
市民がつくる活気に満ちたまち	38	3.9	4.7
印旛沼周辺の環境整備等による水と緑の豊かな都市	145	14.7	17.7
城址や伝統的なまち並みの整備による歴史観光都市	152	15.4	10.4
インターチェンジ、第三工業団地等の周辺整備を含めた成田空港との連携都市	58	5.9	4.1
国立歴史民俗博物館・美術館等を中心とした創造的な文化創造都市	74	7.5	7.8
その他	23	2.3	1.4
無回答	40	4.1	11.0
全体	984	100.0	100.0



回答者のうち、「豊かな自然を引き継ぐ、環境と調和したまち」と回答した方の割合が最も高く29.2%となっています。

前回調査と比較すると、「豊かな自然を引き継ぐ、環境と調和したまち」、「印旛沼周辺の環境整備等による水と緑の豊かな都市」の割合が低下する一方、「個性ある生活圏が連続した、生き生きと暮らせるまち」、「城址や伝統的なまち並みの整備による歴史観光都市」の割合が向上している。自然環境への関心の若干の低下と、生活環境や歴史的なまち並みへの関心の向上がみられる。

【地区別】

	人数(人)	割合(%)								
		豊かな自然を引き継ぐ、 環境と調和したまち	個性ある生活圏が連続した、 生き生きと暮らせるまち	市民がつくる活力に 満ちたまち	印旛沼周辺の環境整備等による水と緑の豊かな都市	城址や伝統的なまち並みの整備による歴史観光都市	インターチェンジ、第三工業団地等の周辺整備を含めた成田空港との連携都市	国立歴史民俗博物館・美術館等を 中心とした創造的な 文化創造都市	その他	無回答
全体	984	29.2	17.0	3.9	14.7	15.4	5.9	7.5	2.3	4.1
佐倉地区	221	27.6	12.7	5.4	14.0	20.4	5.9	7.7	2.7	3.6
志津北部地区	192	33.8	19.3	5.2	11.5	13.0	7.3	6.3	1.0	2.6
志津南部地区	163	31.2	22.7	3.7	9.2	16.0	3.7	9.2	1.2	3.1
臼井地区	207	25.6	14.5	2.9	27.5	12.1	3.4	6.3	3.4	4.3
根郷地区	109	27.5	20.2	0.9	4.6	19.3	10.1	11.9	1.8	3.7
和田地区	14	35.8	14.3	0.0	7.1	7.1	21.4	0.0	0.0	14.3
弥富地区	22	36.4	13.6	0.0	9.1	9.1	18.2	4.5	0.0	9.1
千代田地区	41	29.3	17.1	7.3	17.1	14.6	0.0	7.3	7.3	0.0

地区別にみると、それぞれの地域資源に影響される傾向がみられる。
「印旛沼周辺の環境整備等による水と緑の豊かな都市」を回答した方の割合は、印旛沼に隣接する臼井地区が特に高く27.5%となっている。また、「城址や伝統的なまち並みの整備による歴史観光都市」の割合は、和田地区、弥富地区が特に低くなっている。

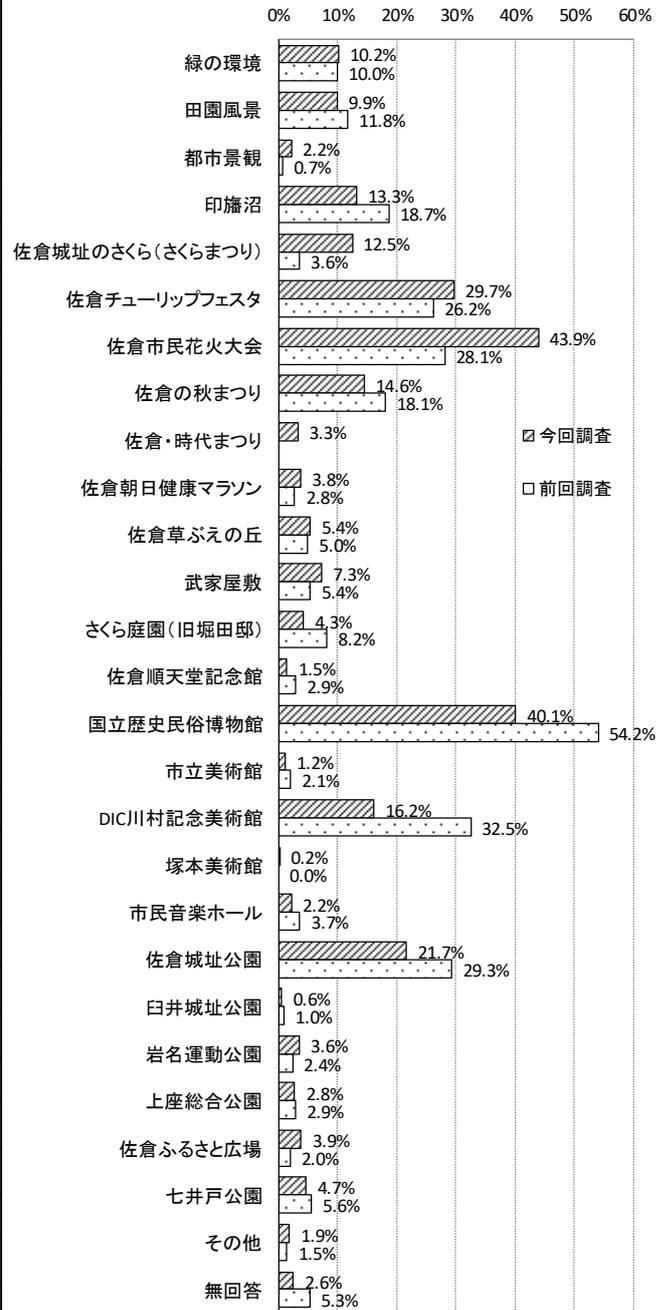
・「その他」にあった主な意見

伝統と現代的発展の調和した発展
高齢者が住みやすいまち
そもそもの特色がない

4. 佐倉市内で好きな場所やもの、市外の友人に紹介したい場所やもの

【全体】

	人数 (人)	割合 (%)	前回 調査 (%)
緑の環境	100	10.2	10.0
田園風景	97	9.9	11.8
都市景観	22	2.2	0.7
印旛沼	131	13.3	18.7
佐倉城址のさくら (さくらまつり)	123	12.5	3.6
佐倉チューリップフェスタ	292	29.7	26.2
佐倉市民花火大会	432	43.9	28.1
佐倉の秋まつり	144	14.6	18.1
佐倉・時代まつり	32	3.3	
佐倉朝日健康マラソン	37	3.8	2.8
佐倉草ぶえの丘	53	5.4	5.0
武家屋敷	72	7.3	5.4
さくら庭園(旧堀田邸)	42	4.3	8.2
佐倉順天堂記念館	15	1.5	2.9
国立歴史民俗博物館	395	40.1	54.2
市立美術館	12	1.2	2.1
DIC川村記念美術館	159	16.2	32.5
塚本美術館	2	0.2	
市民音楽ホール	22	2.2	3.7
佐倉城址公園	214	21.7	29.3
臼井城址公園	6	0.6	1.0
岩名運動公園	35	3.6	2.4
上座総合公園	28	2.8	2.9
佐倉ふるさと広場	38	3.9	2.0
七井戸公園	46	4.7	5.6
その他	19	1.9	1.5
無回答	26	2.6	5.3
回答者数	984		



回答者のうち、「佐倉市民花火大会」と回答した方の割合が最も高く43.9%となっており、前回調査で最も高かった「国立歴史民俗博物館」よりも割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、全体的に歴史・文化施設の割合が低下しているのに対し、イベントの割合に向上がみられる。

【年齢別】

	人数(人)	割合(%)													
		緑の環境	田園風景	都市景観	印旛沼	佐倉城址のさくら(さくらまつり)	佐倉チューリップフェスタ	佐倉市民花火大会	佐倉の秋まつり	佐倉・時代まつり	佐倉朝日健康マラソン	佐倉草ぶえの丘	武家屋敷	さくら庭園(旧堀田邸)	佐倉順天堂記念館
全体	984	10.2	9.9	2.2	13.3	12.5	29.7	43.9	14.6	3.3	3.8	5.4	7.3	4.3	1.5
18歳～29歳	130	10.8	10.0	5.4	10.0	7.7	43.1	53.1	15.4	1.5	5.4	2.3	10.0	3.8	1.5
30歳～39歳	156	5.8	5.1	3.2	9.6	8.3	46.2	55.1	20.5	1.9	5.8	9.0	5.1	2.6	1.3
40歳～49歳	173	9.2	11.6	1.7	14.5	12.7	30.6	48.6	20.2	5.2	3.5	4.0	6.9	4.0	0.6
50歳～59歳	153	11.1	13.1	1.3	11.1	11.1	24.8	43.1	13.1	1.3	3.9	4.6	7.8	5.2	0.7
60歳～69歳	204	13.7	11.3	2.5	17.2	13.2	21.6	34.8	8.3	2.9	2.5	7.8	8.3	6.4	1.5
70歳以上	160	10.0	7.5	0.0	15.6	20.0	17.5	33.1	11.3	6.3	2.5	3.8	6.3	3.1	3.8

	人数(人)	割合(%)												
		国立歴史民俗博物館	市立美術館	DIC川村記念美術館	塚本美術館	市民音楽ホール	佐倉城址公園	臼井城址公園	岩名運動公園	上座総合公園	佐倉ふるさと広場	七井戸公園	その他	無回答
全体	984	40.1	1.2	16.2	0.2	2.2	21.7	0.6	3.6	2.8	3.9	4.7	1.9	2.6
18歳～29歳	130	31.5	0.0	6.2	0.0	1.5	17.7	0.0	6.2	1.5	3.1	3.8	6.2	1.5
30歳～39歳	156	30.1	0.0	10.9	0.0	1.9	17.9	0.0	3.8	2.6	5.1	7.7	3.8	1.3
40歳～49歳	173	31.8	0.6	11.6	0.6	0.6	21.4	0.6	3.5	1.2	4.0	6.9	1.7	2.9
50歳～59歳	153	47.1	2.0	18.3	0.0	2.6	17.6	0.0	3.9	2.0	3.9	3.9	0.7	2.6
60歳～69歳	204	45.6	2.0	26.5	0.5	3.4	22.1	1.0	2.5	4.9	2.9	2.9	0.5	2.5
70歳以上	160	51.9	2.5	19.4	0.0	3.1	33.1	1.9	2.5	4.4	4.4	3.1	0.0	3.8

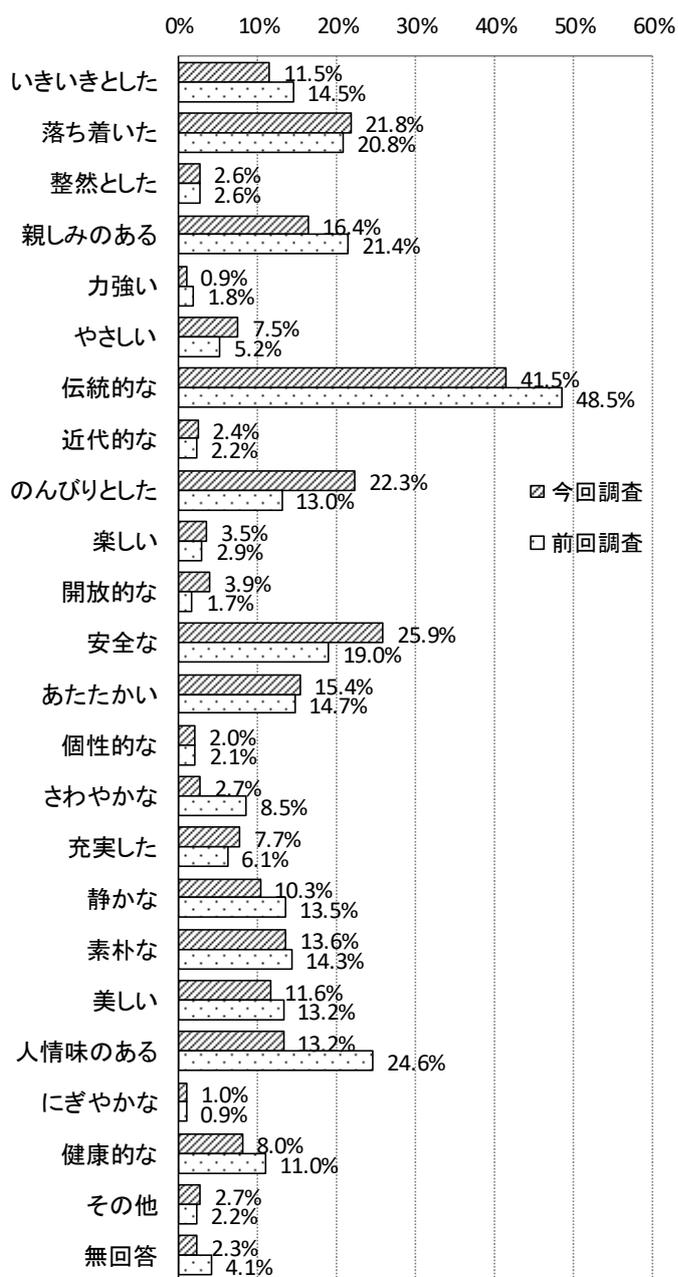
年齢層ごとにみると、「佐倉チューリップフェスタ」や「佐倉市民花火大会」は若年層のほうが回答した割合が高いのに対し、「国立歴史民俗博物館」や「DIC川村記念美術館」は高齢層のほうが割合が高い傾向がみられる。

「その他」にあった主な意見

イオンタウンユーカリが丘	特になし
--------------	------

5. 将来の佐倉市のイメージとしてふさわしい言葉

	人数 (人)	割合 (%)	前回 調査 (%)
いきいきとした	113	11.5	14.5
落ち着いた	215	21.8	20.8
整然とした	26	2.6	2.6
親しみのある	161	16.4	21.4
力強い	9	0.9	1.8
やさしい	74	7.5	5.2
伝統的な	408	41.5	48.5
近代的な	24	2.4	2.2
のんびりとした	219	22.3	13.0
楽しい	34	3.5	2.9
開放的な	38	3.9	1.7
安全な	255	25.9	19.0
あたたかい	152	15.4	14.7
個性的な	20	2.0	2.1
さわやかな	27	2.7	8.5
充実した	76	7.7	6.1
静かな	101	10.3	13.5
素朴な	134	13.6	14.3
美しい	114	11.6	13.2
人情味のある	130	13.2	24.6
にぎやかな	10	1.0	0.9
健康的な	79	8.0	11.0
その他	27	2.7	2.2
無回答	23	2.3	4.1
回答者数	984		



回答者のうち、「伝統的な」と回答した方の割合が最も高く41.5%となっている。
 前回調査と比較すると、「親しみのある」、「伝統的な」、「人情味のある」の割合が低下する一方、
 「のんびりとした」、「安全な」の割合が向上している。

「その他」にあった主な意見

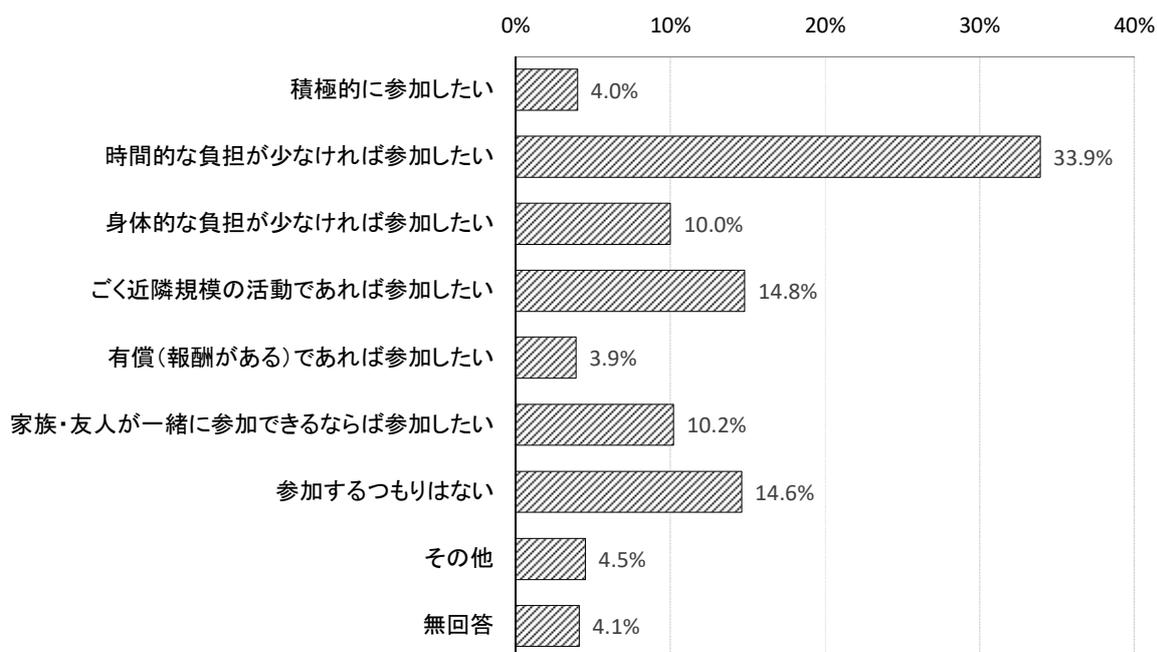
自然豊かな
歴史ある
田園
住みやすい

(6)地域活動について - 調査票問6

1. ボランティア活動などの地域コミュニティ活動への参加意向

【全体】

	人数(人)	割合(%)
積極的に参加したい	39	4.0
時間的な負担が少なければ参加したい	335	33.9
身体的な負担が少なければ参加したい	98	10.0
ごく近隣規模の活動であれば参加したい	146	14.8
有償(報酬がある)であれば参加したい	38	3.9
家族・友人と一緒に参加できるならば参加したい	100	10.2
参加するつもりはない	144	14.6
その他	44	4.5
無回答	40	4.1
全体	984	100.0



回答者のうち、「時間的な負担が少なければ参加したい」と回答した方の割合が最も高く 33.9%となっている。明確に「参加するつもりはない」と回答した方の割合は 14.6%となっており、(活動内容によってではあるが)市民の多くに地域コミュニティ活動への参加意向がみられる。

【年齢層別】

	人数(人)	割合(%)								
		積極的に参加したい	少なければ参加したい 時間的な負担が	少なければ参加したい 身体的な負担が	ごく近隣規模の活動で あれば参加したい	有償(報酬がある)で あれば参加したい	家族・友人と一緒に参加 できるならば参加したい	参加するつもりはない	その他	無回答
全体	984	4.0	33.9	10.0	14.8	3.9	10.2	14.6	4.5	4.1
18歳～29歳	130	3.8	30.9	3.1	9.2	9.2	19.2	20.8	1.5	2.3
30歳～39歳	156	2.6	37.1	3.2	9.6	6.4	23.1	12.8	2.6	2.6
40歳～49歳	173	3.5	42.8	4.6	12.1	4.0	9.8	14.5	5.8	2.9
50歳～59歳	153	2.6	47.0	14.4	9.8	1.3	3.9	13.1	5.9	2.0
60歳～69歳	204	6.4	29.3	12.3	22.1	2.0	3.9	15.2	2.9	5.9
70歳以上	160	4.4	16.9	21.3	23.0	1.9	5.0	12.5	8.1	6.9

年齢層別にみると、18歳～29歳、30歳～39歳については時間的な負担が少ないことや家族・友人と一緒に参加できることを、参加の条件とする方が多くなっている。40歳～49歳、50歳～59歳については、時間的な負担が少ないことを参加の条件とする方の割合が、より多くなっている。

60歳～69歳、70歳以上については、他の年齢層に比べ、時間的な負担よりも近隣規模の活動であることを参加の条件とする方の割合が多くなっている。

また、明確に「参加するつもりはない」と回答された方の割合は、18歳～29歳が高いものの、全体的に年齢層ごとの差は大きくなかった。

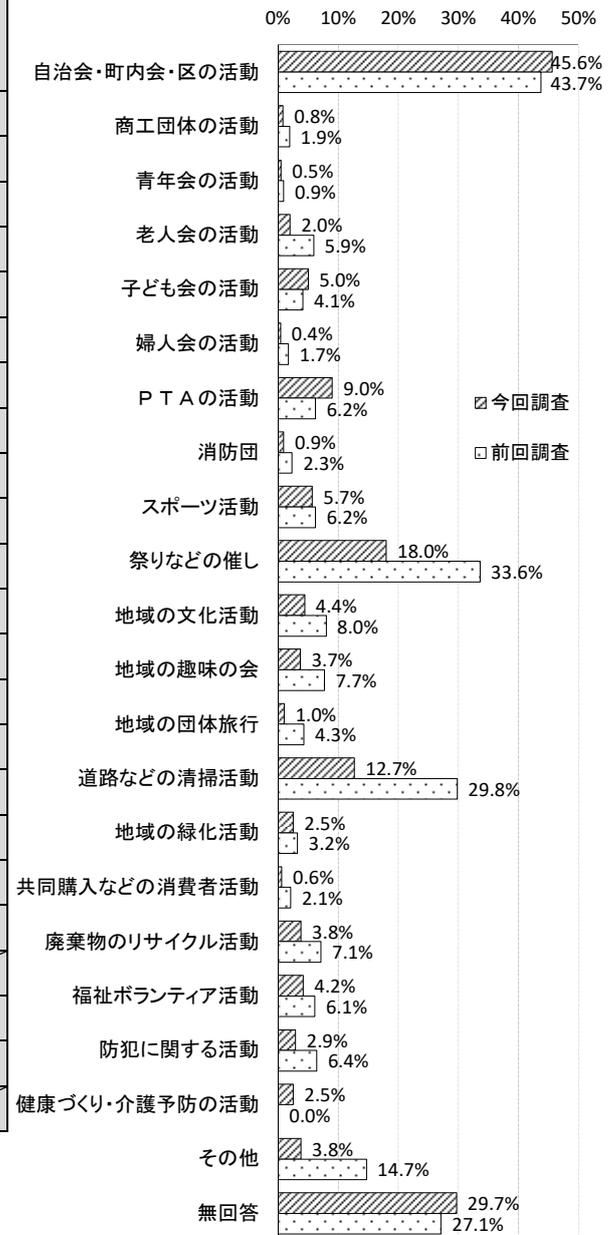
「その他」にあった主な意見

子育て期間が終われば参加したい
定年後に参加したい
高齢のため体力的に参加は難しい
就労しているため参加は難しい
持病のため参加は難しい

2. 過去1年に参加したことのある地域コミュニティ活動

【全体】

	人数 (人)	割合 (%)	前回 調査 (%)
自治会・町内会・区の活動	449	45.6	43.7
商工団体の活動	8	0.8	1.9
青年会の活動	5	0.5	0.9
老人会の活動	20	2.0	5.9
子ども会の活動	49	5.0	4.1
婦人会の活動	4	0.4	1.7
PTAの活動	89	9.0	6.2
消防団	9	0.9	2.3
スポーツ活動	56	5.7	6.2
祭りなどの催し	177	18.0	33.6
地域の文化活動	43	4.4	8.0
地域の趣味の会	36	3.7	7.7
地域の団体旅行	10	1.0	4.3
道路などの清掃活動	125	12.7	29.8
地域の緑化活動	25	2.5	3.2
共同購入などの消費者活動	6	0.6	2.1
廃棄物のリサイクル活動	37	3.8	7.1
福祉ボランティア活動	41	4.2	6.1
防犯に関する活動	29	2.9	6.4
健康づくり・介護予防の活動	25	2.5	0.0
その他	37	3.8	14.7
無回答	292	29.7	27.1
回答者数	984		



回答者のうち、「自治会・町内会・区の活動」と回答した方の割合が最も高く45.6%となっている。前回調査と比較すると、「自治会・町内会・区の活動」にはあまり変化がないものの、「祭りなどの催し」や「道路などの清掃活動」の割合は大きく低下している。

【居住年数別】

	人数(人)	割合(%)										
		自治会・町内会・区の活動	商工団体の活動	青年会の活動	老人会の活動	子ども会の活動	婦人会の活動	PTAの活動	消防団	スポーツ活動	祭りなどの催し	地域の文化活動
全体	984	45.6	0.8	0.5	2.0	5.0	0.4	9.0	0.9	5.7	18.0	4.4
5年未満	92	22.8	0.0	1.1	0.0	2.2	0.0	4.3	2.2	1.1	10.9	1.1
5年以上 10年未満	95	42.1	0.0	1.1	1.1	5.3	0.0	13.7	0.0	4.2	16.8	1.1
10年以上 20年未満	165	50.3	0.6	0.6	2.4	10.9	0.0	23.6	0.6	7.9	18.8	1.8
20年以上	621	48.6	1.1	0.3	2.3	3.9	0.6	4.8	1.0	5.8	19.2	6.0

	人数(人)	割合(%)										
		地域の趣味の会	地域の団体旅行	道路などの清掃活動	地域の緑化活動	共同購入などの消費者活動	廃棄物のリサイクル活動	福祉ボランティア活動	防犯に関する活動	健康づくり・介護予防の活動	その他	無回答
全体	984	3.7	1.0	12.7	2.5	0.6	3.8	4.2	2.9	2.5	3.8	29.7
5年未満	92	1.1	0.0	7.6	1.1	0.0	3.3	1.1	0.0	0.0	2.2	59.8
5年以上 10年未満	95	2.1	0.0	4.2	1.1	1.1	0.0	1.1	2.1	1.1	4.2	33.7
10年以上 20年未満	165	1.2	0.6	9.7	1.8	0.0	1.8	2.4	3.6	1.8	4.2	25.5
20年以上	621	4.7	1.4	15.8	3.2	0.8	4.8	5.5	3.4	3.2	3.7	25.8

居住年数別にみると、「自治会・町内会・区の活動」において、5年以上居住している方は40%～50%の参加がみられるが、5年未満の方については22.8%となっている。

全体で前回調査より特に低下していた活動について、「祭りなどの催し」は居住年数が長い方ほど参加している傾向がみられ、5年未満の方については10.9%となっている。「道路などの清掃活動」については20年以上の方が参加している割合が高く15.8%となっている。

また、地域コミュニティ活動に参加したことがないと考えられる「無回答」が、5年未満の方において59.8%となっている。

(7)市の施設の利用について - 調査票問4

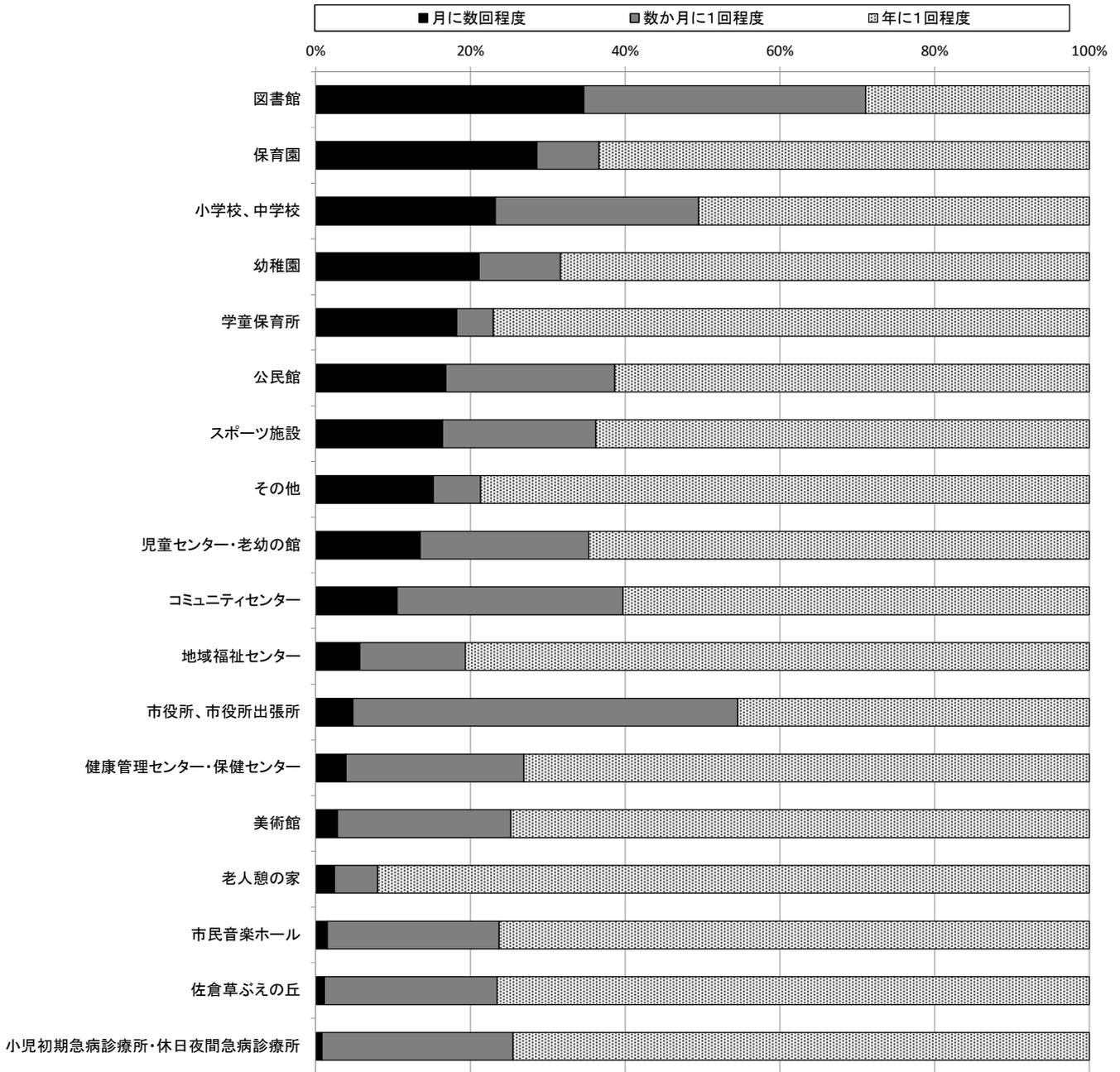
1. 過去3年以内に利用した市の施設の利用頻度、満足度

■利用頻度※

	回答者数(人)	割合(%)		
		月に数回程度	数か月月に1回程度	年に1回程度
1. コミュニティセンター	411	10.5	29.2	60.3
2. 公民館	380	16.8	21.8	61.3
3. 市民音楽ホール	401	1.5	22.2	76.3
4. 図書館	546	34.6	36.4	28.9
5. 美術館	389	2.8	22.4	74.8
6. スポーツ施設	293	16.4	19.8	63.8
7. 佐倉草ぶえの丘	367	1.1	22.3	76.6
8. 小学校、中学校	289	23.2	26.3	50.5
9. 幼稚園	171	21.1	10.5	68.4
10. 保育園	175	28.6	8.0	63.4
11. 児童センター・老幼の館	193	13.5	21.8	64.8
12. 学童保育所	148	18.2	4.7	77.0
13. 老人憩の家	126	2.4	5.6	92.1
14. 健康管理センター・保健センター	361	3.9	23.0	73.1
15. 地域福祉センター	176	5.7	13.6	80.7
16. 小児初期急病診療所・休日夜間急病診療所	239	0.8	24.7	74.5
17. 市役所、市役所出張所	724	4.8	49.7	45.4
18. その他	33	15.2	6.1	78.8

※本設問については、利用している方の利用実態をするため、回答のあった方のみを集計の対象としている。

利用頻度（「月に数回程度」の割合が高い順）



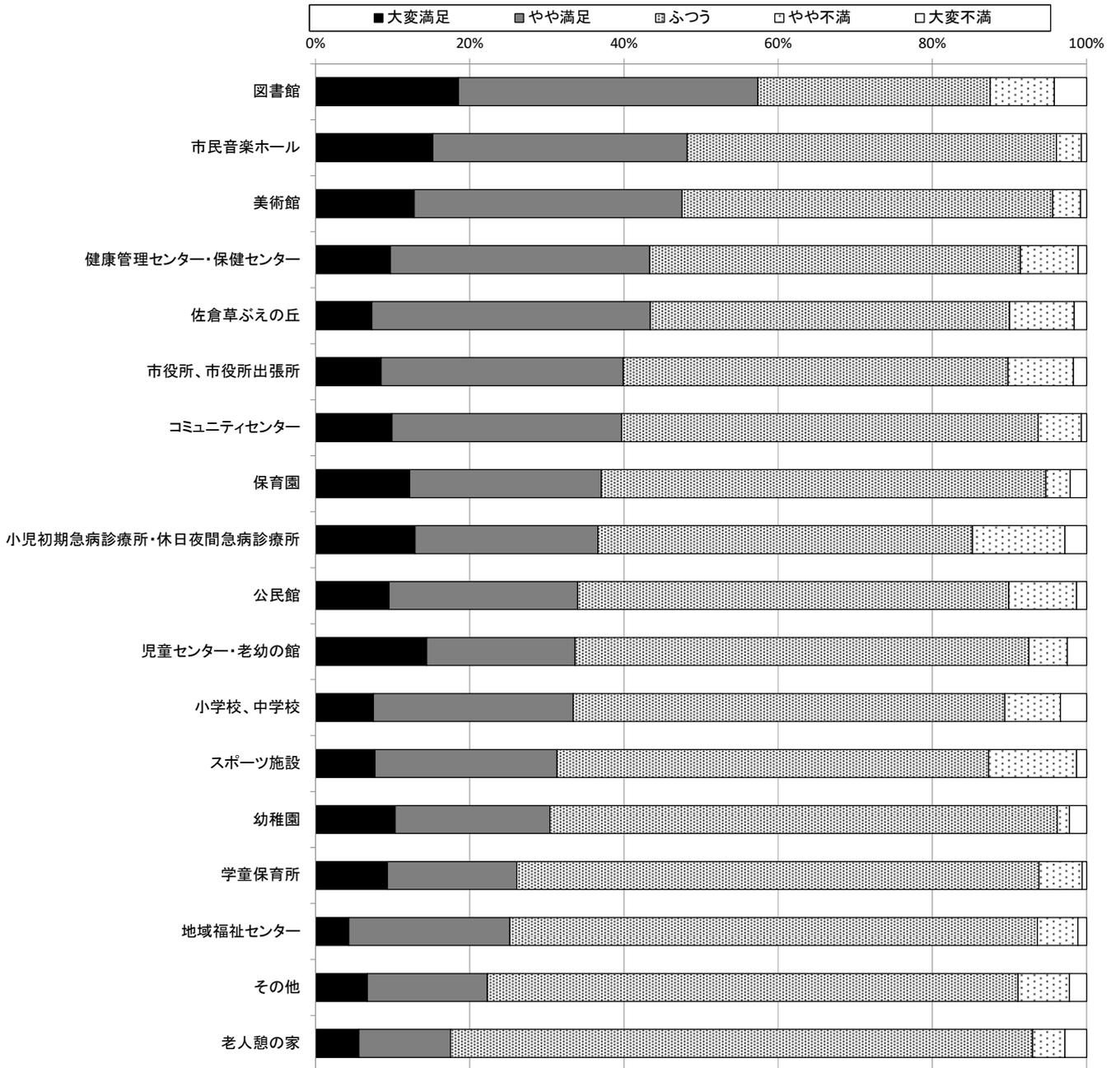
利用している方の利用頻度が最も高いのは「図書館」となっている。次いで「保育園」、「小学校、中学校」、「幼稚園」、「学童保育所」の割合が高くなっている。

■満足度※

	回答者数(人)	割合(%)				
		大変満足	やや満足	ふつう	やや不満	大変不満
1. コミュニティセンター	413	9.9	29.8	54.0	5.6	0.7
2. 公民館	388	9.5	24.5	55.9	8.8	1.3
3. 市民音楽ホール	409	15.2	33.0	47.9	3.2	0.7
4. 図書館	551	18.5	38.8	30.1	8.3	4.2
5. 美術館	391	12.8	34.8	48.1	3.6	0.8
6. スポーツ施設	297	7.7	23.6	55.9	11.4	1.3
7. 佐倉草ぶえの丘	371	7.3	36.1	46.6	8.4	1.6
8. 小学校、中学校	293	7.5	25.9	56.0	7.2	3.4
9. 幼稚園	184	10.3	20.1	65.8	1.6	2.2
10. 保育園	189	12.2	24.9	57.7	3.2	2.1
11. 児童センター・老幼の館	202	14.4	19.3	58.9	5.0	2.5
12. 学童保育所	161	9.3	16.8	67.7	5.6	0.6
13. 老人憩の家	143	5.6	11.9	75.5	4.2	2.8
14. 健康管理センター・保健センター	362	9.7	33.7	48.1	7.5	1.1
15. 地域福祉センター	187	4.3	20.9	68.4	5.3	1.1
16. 小児初期急病診療所・休日夜間急病診療所	249	12.9	23.7	48.6	12.0	2.8
17. 市役所、市役所出張所	716	8.5	31.4	49.9	8.5	1.7
18. その他	45	6.7	15.6	68.9	6.7	2.2

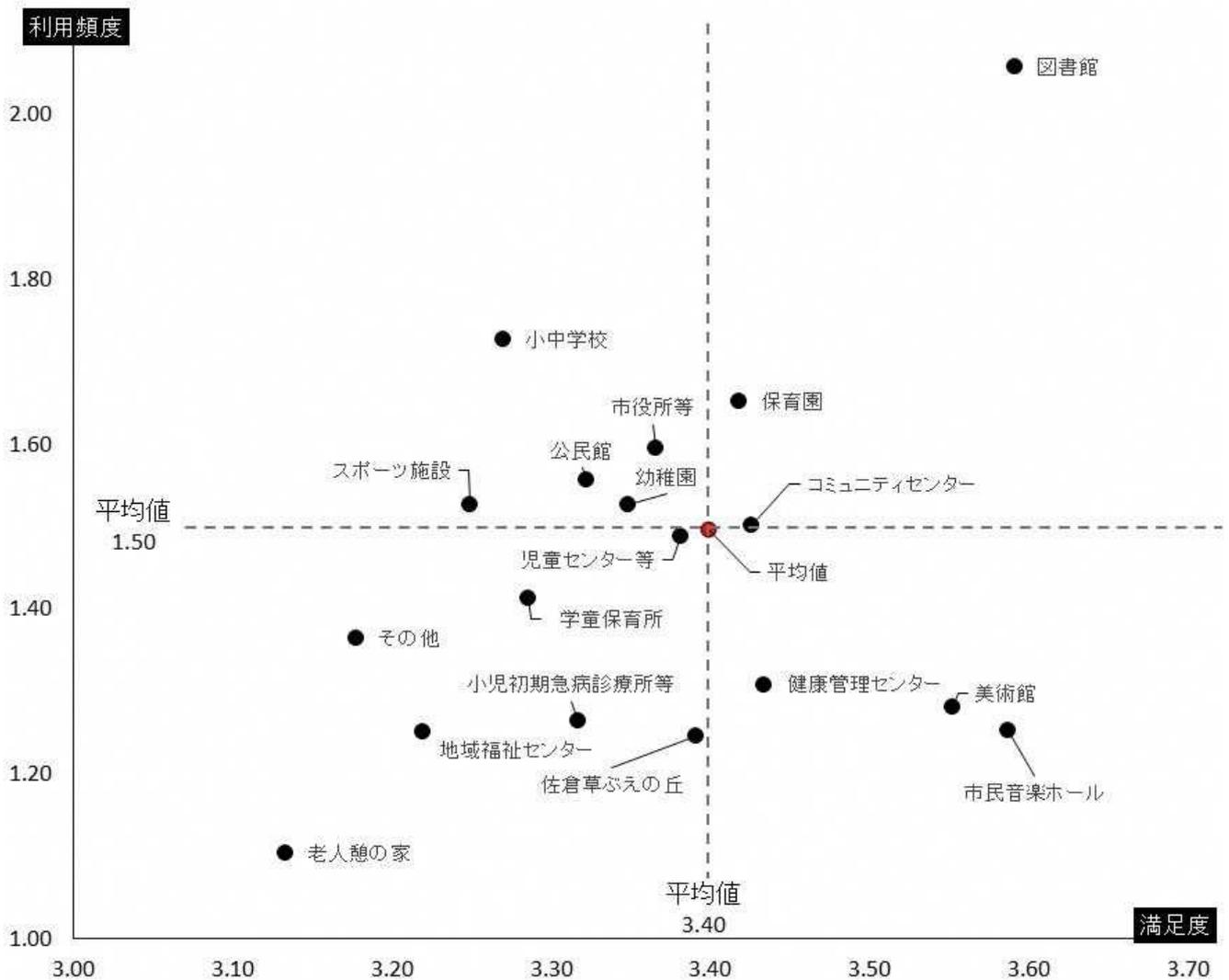
※本設問については、利用している方の満足度を把握するため、回答のあった方のみを集計の対象としている。

満足度（「大変満足」、「やや満足」の割合の合計が高い順）



満足度（「満足」と「やや満足」の合計）は「図書館」が最も高く、次いで「市民音楽ホール」、「美術館」と、文化施設が高くなっている。

■CS分析



★グラフの見方

満足度は平均より低く 利用頻度は平均より高い	満足度が平均より高く 利用頻度も平均より高い
満足度は平均より低く 利用頻度も平均より低い	満足度は平均より高く 利用頻度は平均より低い

点数について

利用頻度

月に数回程度:3点

数か月に1回程度:2点

年に1回程度:1点

満足度

大変満足:5点

やや満足:4点

ふつう:3点 やや不満:2点

大変不満:1点

として、各選択肢の点数をそれを回答した人数で乗じ、その合計を回答者総数(無回答者を除く)で除したものを各施策の得点としている。

★満足度が平均を超えている施設

コミュニティセンター
市民音楽ホール
図書館
美術館
保育園
健康管理センター

★利用頻度、満足度とも低い施設

児童センター等
学童保育所
佐倉草ぶえの丘
老人憩の家
地域福祉センター
小児初期急病診療所・休日夜間急病診療所
その他

利用頻度、満足度をそれぞれ点数化すると、「図書館」についてはいずれも高得点であり、特に市民ニーズが高い施設と考えられる。

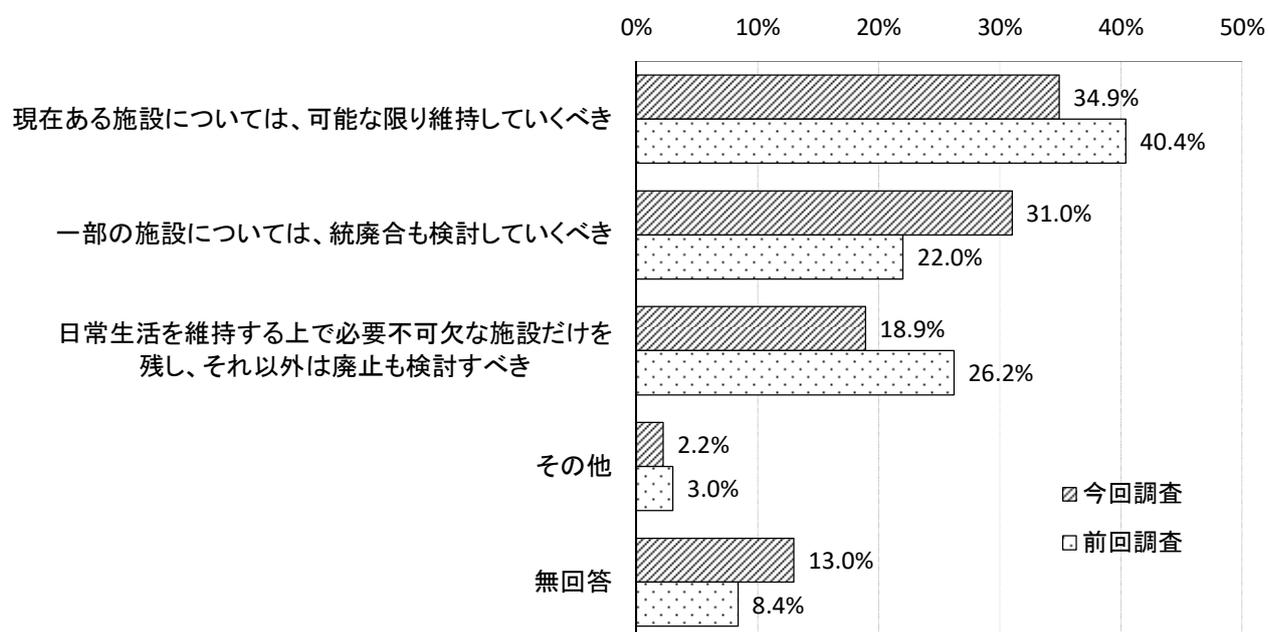
満足度が平均より高かったのは、コミュニティ施設では「コミュニティセンター」、文化施設では「市民音楽ホール」、「図書館」、「美術館」、福祉施設では「保育園」、「健康管理センター」となっている。

利用頻度、満足度とも低い施設について、「小児初期急病診療所・休日夜間急病診療所」は施設の性質上、満足度の低さが利用頻度につながるものではないが、その他の施設については、利用頻度と満足度の因果関係が考えられる。

2. 居住地にある公共施設の今後のあり方

【全体】

	人数(人)	割合(%)	前回調査(%)
現在ある施設については、可能な限り維持していくべき	343	34.9	40.4
一部の施設については、統廃合も検討していくべき	305	31.0	22.0
日常生活を維持する上で必要不可欠な施設だけを残し、それ以外は廃止も検討すべき	186	18.9	26.2
その他	22	2.2	3.0
無回答	128	13.0	8.4
全体	984	100.0	100.0



回答者のうち、「現在ある施設については、可能な限り維持していくべき」と回答した方の割合が最も高く34.9%となっており、身の回りの施設について現状維持を望む市民が多い。

しかし前回調査と比較すると、「現在ある施設については、可能な限り維持していくべき」、「日常生活を維持する上で必要不可欠な施設だけを残し、それ以外は廃止も検討すべき」が低下し、「一部の施設については、統廃合も検討していくべき」の割合が向上している。

現状維持や急激な廃止は望まないものの、統廃合の必要性を認識している市民が、前回調査時よりも増加していると考えられる。

【地区別】

	人数(人)	割合(%)				
		現在ある施設については、 可能な限り維持していくべき	一部の施設については、 統廃合も検討していくべき	日常生活を維持する上で必要不可欠な施設 だけを残し、それ以外は廃止も検討すべき	その他	無回答
全体	984	34.9	31.0	18.9	2.2	13.0
佐倉地区	221	34.8	30.3	19.9	3.2	11.8
志津北部地区	192	29.2	34.9	20.8	2.1	13.0
志津南部地区	163	41.2	28.8	15.3	1.8	12.9
臼井地区	207	34.3	30.9	17.9	0.5	16.4
根郷地区	109	34.1	33.9	22.9	1.8	7.3
和田地区	14	57.2	7.1	14.3	7.1	14.3
弥富地区	22	54.7	22.7	13.6	4.5	4.5
千代田地区	41	34.1	31.7	22.0	7.3	4.9

地区別にみると、和田地区、弥富地区においては現状維持を望む割合が特に高くなっている。
また、志津北部地区においては、現状維持よりも統廃合を望む割合が、全体よりも高くなっている。他の設問の結果から考えると、居住環境等の充実により公共施設へのニーズが高くない傾向があると考えられる。

「その他」にあった主な意見

維持が難しければ、有料化も検討すべき
民間委託で対応すべき
統廃合した場合、交通手段を充実させてほしい
地域にひとつしかないなので、統廃合など考えられない

3. 結果分析

1. 住まい・通勤の状況に関すること

- ・一戸建て（持家）に住んでいる方が多いが、前回調査時よりも、特に市内の北部においてマンション（持家）やアパート・マンション（賃貸）に住む割合が高くなっている。
- ・Uターンした方は賃貸のアパート・マンションに住む割合が高い。
- ・勤務先が市内の方は全体の1/4程度で、多くは市外に通勤している。

⇒市外に働く方の多い佐倉市は住宅都市的な性格を備えており、住居環境の整備はまちづくりにおいて重要な要素である。地区ごとに環境が異なるため、住宅整備や空き家の運用などの住居政策を考える際には、全市的なものではなく地区ごとの居住傾向を踏まえたものにする必要がある。

- ・前回調査時よりも、市内就労者の割合が減少し、東京都通勤者の割合が増加している。
- ・実際の転出が多い18歳～29歳において、東京都へ通勤している割合が高い。この一方で勤務地と定住意向の間に強い相関はみられない。

⇒市民の就労形態に変化はみられ、特に18歳～29歳の長距離通勤者も多いが、勤務先が定住意向を低下させる傾向はみられないため、定住促進のための通勤支援等の施策効果は高くない可能性がある。

2. 佐倉市への愛着に関すること

- ・実際の転出数が多い18歳～29歳においても、地域への愛着（佐倉市を好きと思う割合）は他の世代と大きくは変わらなかった。一方で、今後の定住意向は18歳～29歳において特に低くなっている。
- ・転出意向を持つ方は、通勤・通学、家庭の都合などを要因として挙げる割合が多い。持家に居住する方が多いことも関係するが、家賃負担を転出理由に挙げた方はほとんどいなかった。
- ・この10年ほどで住みよくなったと感じた割合は、宅地造成などによる都市化の進んだ根郷地区や志津北部地区が高く、人口増加や生活利便の向上をまちの住みよさとする傾向がある。

⇒地域への愛着と定住意向の相関が薄いことから、地域への愛着を醸成することは重要ではあるが、こと人口問題についての対策としては、地域に学校や産業があることや、住みよい住宅が整備されていることのほうが、効果が高いと考えられる。
また、現状の市内の地価（家賃）水準は、転出にはほとんどつながっていないと考えられる。

3. 地域コミュニティに関すること

- ・市内居住年数が5年未満の自治会加入率は半数を割り込んでいるが、案内があれば加入したいと思っている方が約14%おられた。
- ・ご近所づきあいは居住年数が長くなるにつれ増える傾向がみられるものの、居住年数が10年を超えると孤立リスクとの相関は薄くなる。

⇒転入者で自治会加入意向のある方へ、案内が行き届いていない可能性がある。また、社会的孤立へのアウトリーチ活動を検討する場合、居住年数が10年を超えると孤立リスクは一定となるため、1つのグループとして考えることもできる。

- ・地域コミュニティ活動についての参加意向はおおまかに、18歳～39歳、40歳～59歳、60歳以上と傾向をグループ化することができる。いずれの年齢層も時間的負担が少ないことを条件とする割合が高く、そのほかに、18歳～39歳は家族・友人と参加できること、60歳以上は近隣規模の活動であることを条件として挙げる割合が高い。
- ・地域コミュニティ活動への参加に明確な拒否感を示した割合については、年齢層ごとの差は大きくなかった。
- ・参加したことのある地域コミュニティ活動については、自治会・町内会・区の活動の割合が高く、前回調査時と同水準だった。その一方で、祭りなどの催しや道路などの清掃活動の割合は低下している。

⇒地域コミュニティ活動への参加意向自体は低くないが、年齢層ごとに条件があるため、参加率の低下している活動については担い手の維持のためにあり方の検討を要する。

4. まちづくりへの主体的な参画意識に関すること

- ・根郷地区、和田地区、弥富地区において、参画意識が特に高くなっている。

⇒地域コミュニティ活動などの市民主体の取組みを検討する際、市内南部の地区についてはより参画が期待できる。

5. 情報提供・情報公開に関すること

- ・市からの情報は、全体としては市のホームページで得る割合が高いが、60歳を超えると窓口来所や電話・メールなどの直接的な手段の割合が急増する。
- ・地区により情報ニーズが異なる傾向がみられる。

⇒施策・情報の対象を考慮し、適切かつ効果的に情報提供・情報公開を行う必要がある。

6. 施策評価に関すること

- ・福祉関連部門では、健康増進に関する施策（「市民の健康づくり」、「健康教育」）及び地域福祉、安全・安心な生活環境づくりでは「消防・防災」、「防犯・交通安全・市民相談」、教育関連部門では、「学校環境」、「学力向上」、都市環境部門では「上水道」、「下水道」についての満足度・優先度評価が比較的高い。
- ・重要改善項目の中では、交通環境への満足度が特に低く、また、福祉関連部門では4部門の満足度・優先度評価が比較的低い。

⇒評価の高い項目については引き続き取組みを推進し、評価の低い項目については、実際の施策についての詳細な分析を進める必要がある。

7. 佐倉市の今後に関すること

- ・まちの長所として、佐倉市由来の地域の歴史や伝統、自然環境を回答する割合が高いものの、前回調査よりは低下しており、一方で居住環境の水準、買い物の便利さ、治安のよさが前回調査より向上している。また、居住環境の水準、買い物の便利さについては、志津北部地区、志津南部地区、臼井地区で回答された割合が高く、前回調査時よりも市内の北西部において改善したと市民が評価していると考えられる。
- ・まちの短所として、通勤・通学の便を回答する割合が前回調査時よりも向上する一方、保健・医療・福祉の水準、治安のよさ、市と市民の一体性、地域の経済発展が特に低下している。低下したものについては、改善したと市民が評価していると考えられる。
- ・今後の都市づくりについて、前回調査と同じく、自然環境との調和を重視する割合が最も高いものの、前回調査の結果よりも割合は低下している。この一方で、生活利便の向上や歴史観光都市としてのまちづくりを望む割合が向上している。
- ・佐倉市で対外的に薦められるものは、若年層ほどイベント、高齢層ほど歴史・文化施設と考える傾向がみられる。

⇒今後のまちづくりの方針を検討する上で、従来の佐倉市のよさを維持しながら、居住環境の地区差を検討していく必要がある。

また、佐倉チューリップフェスタや佐倉市民花火大会への若年層の評価が特に高く、対外的にもPRしていく必要がある。

8. 公共施設等管理に関すること

- 図書館が利用頻度・満足度ともに突出して高く、保育園やコミュニティセンターも利用頻度・満足度が比較的高い。施設の性質上利用頻度は低いが、市民音楽ホールや美術館、健康管理センターの満足度が高い。
- 利用頻度、満足度とも低い施設について、小児初期急病診療所・休日夜間急病診療所は施設の性質上、満足度の低さが利用頻度につながるものではないが、その他の施設については、利用頻度と満足度の因果関係が考えられる。
- 地域の公共施設の今後については、現状維持を望む割合が最も高いが、前回調査と比較すると統廃合を望む割合が増加している。ただし、急進的な廃止を望む割合は、前回調査と比較して低下している。また、志津北部地区において、現状維持よりも統廃合を望む割合がより高くなっている。

⇒全体として公共施設の現状維持を望む割合が高いが、統廃合を望む割合は高まっており、施設の利用実態と満足度を把握しながら、より広域的な機能確保と統廃合を検討することも視野に、公共施設管理を行っていく必要がある。

(注：策定支援業務委託先である「(株)ぎょうせい」が作成したもの)

4. 自由意見 ※表の数値は意見数

I 保健・福祉に関するご意見

健康づくり			
健康診断負担の低廉化	1	予防接種の通知を定期的に	1
高齢者以外にも健康診断を	1		

医療			
救急医療の充実	2	近隣医療機関の閉院への不安	1
大病院の誘致	1	医療機関の誘致	1

子育て支援			
子育て支援全体の充実	5	待機児童ゼロ	1
夜間保育の充実	1	病児保育の充実	1
保育園の駐車場の増設	1	幼稚園の設置	1
子育て支援施設の地区格差への不満	1		

高齢者支援			
老人ホームの増設	3	高齢者の集いの場の充実	3
高齢者の就労機会創出	2	高齢者の孤立対策の強化	2
地域包括支援センターが地域にあることの安心	1	高齢者の買い物支援	1
介護予防の推進	1	支援制度の情報発信	1
介護保険料の見直し	1	高齢者の社会参加機会創出	1
免許返納後の高齢者の移動手段の確保	1	敬老のつどいの内容の改善	1
在宅医療・介護の連携	1		

障害者対策			
障害者（重度）の施設が少ない			1

II 地域環境に関するご意見

自然環境			
外来種対策	2	不要な樹木の伐採をしない	1
広域連携による印旛沼の浄化	1	住宅増加による自然減少が残念	1
商業地域の緑化	1		

生活環境			
騒音対策（生活音）	3	不法投棄への対応	2
商店の食品ロス活用	1	全体的にまちが汚い	1

墓地・霊園			
共同墓地の設置	1	公立の霊園の設置	1

防災			
防災行政無線が聴こえない	6	電柱の地中化	3
災害対策の充実	2		

防犯			
街灯の増設	6	防犯情報の充実	1
防犯ブザーの配付	1	不審人物が地域にいる	1

Ⅲ 教育・スポーツに関するご意見

学校教育			
教員の資質向上	2	私立小中学校の誘致	1
通学環境が悪いので学区を選択制に	1	心の教育の充実	1
老朽校舎の改修	1		

生涯学習			
公民館が遠い	1	生きる力の育成	1

図書館			
学習スペースの増設	3	近隣での図書館の新設	3
図書館の蔵書の充実	2	返却ポストの駅前設置	2
図書館の広さの確保	1	新たな佐倉図書館の立地への不満	1
他市図書館の利用希望	1	佐倉図書館建て替えへの期待	1
(有料) 宅配貸出の希望	1		

スポーツ施設			
市民プールの新設	5	近隣に運動施設の新設	2
スポーツ施設の予約システムの利便向上	1	草ぶえの丘に運動施設を設置	1
岩名運動公園に屋内スポーツ施設を設置	1		

大学誘致			
大学誘致への肯定的意見	1	大学誘致への否定的意見	2

IV 農業・産業・文化に関するご意見

農業振興			
特産品の検討	2	環境保全に向けた農業の推進	1
休耕地対策	1	農業の担い手の確保	1

商業振興・企業誘致			
商店の増加	8	大規模商業施設の新設	1
企業誘致	1	休眠商店の活用	1
飲食店の新設	1	移動販売車の充実	1
ユーカリプラザの活用	1	工業団地の拡充	1

雇用			
市内企業への転職サポートの充実	1	短時間のパートタイム就労の要望	1
給与水準への不満	1		

地域振興・観光			
佐倉市全体の観光振興	5	印旛沼・ふるさと広場一帯の魅力向上	3
桜の名所としての観光企画	3	歴史的なまち並みの整備	3
国立歴史民俗博物館を活用した観光企画	2	カムロちゃんの活用推進	2
道の駅の新設	1	草ぶえの丘を中心とした観光企画	1
インバウンド観光の推進	1	イベントは充実している	1
佐倉インター付近のイメージアップ	1		

移住促進			
若者の移住促進	4	転入者への地域活動の案内の充実	1

歴史・文化			
市内文化施設の廉価での利用	2	市のシンボルとして模擬天守の創設	2
文化施設の新設	1	御神酒所（山車）を市民文化資産に	1
スポーツよりも文化に投資	1	市内文化施設の年間パスポート発行	1

V 都市基盤に関すること

駅前開発			
J R佐倉駅前の開発	6	京成佐倉駅前の開発	6
臼井駅前の開発	3	駅前開発の民間委託	1
ユーカリが丘駅前の美化	1	市内駅前全体の活性化	1
志津ステーションビルの充実	1	物井駅前の開発	1
志津駅前の開発	1	江原台駅の創設	1

空き家			
空き家の増加への不安	9	空き家情報発信の充実	2
空き家の解体・修繕	1	空き家所有者への行政指導	1
空き家の維持管理	1		

道路・歩道・交通環境			
車道整備・渋滞緩和	26	歩道の整備	12
歩道のバリアフリー化	6	道路排水の強化	2
大型車両通行への不安（住宅地）	2	雑草への対応	2
ベンチの設置	1	交通マナーへの不満	1
市街地・農地間の道路充実	1	信号の新設・改善	1
排気ガスへの不満	1	自転車専用通行帯の創設	1

バス・鉄道			
コミュニティバスの路線改善	9	最寄り駅を快速・特急停車駅に	5
市内バス料金の低廉化	3	コミュニティバスの増便	2
公共交通の充実	2	ユーカリが丘線モノレールの低廉化	1
J Rの車両への要望	1	京成線駅の増加（臼井－佐倉間）	1
市外へつながるモノレール	1	子どもの送迎への不満	1
高齢者の免許返納促進のための公共交通充実	1	高齢者や障害者向けのバスの年間パスポート	1

上下水道			
水道料金が低い	1	下水道整備の推進	1

公園・街路樹			
公園の新設・充実	7	街路樹による日照問題	1
公園清掃への感謝	1	公園に不審者がいる	1
公園の防災機能向上	1		

VI 地域コミュニティ・行財政運営に関すること

地域コミュニティ			
町内会活動の負担が大きい	6	転入者を受け入れる気質がない	2
町内会の募金への不満	1	中学生・高校生の地域コミュニティへの参画	1
各地区の連携した取組みの検討	1	市民の地域づくりへの主体的参画意識の醸成	1
地区内の住民の協力・連携	1	退職後に地域活動に参画したい	1
市職員の自治会活動への参加	1	ボランティア活動への参加意識の醸成	1
若者のコミュニティづくり	1	子どもの見守り活動への感謝	1

人権			
人権尊重のまちづくりの必要性への疑問			1

国際化・多文化共生			
外国籍の住民への地域のマナーの啓発	2	外国籍の住民への不安感	2
外国籍の方の受入推進	2	外国籍の住民を支援するボランティア	1

情報公開・情報開示			
佐倉市のよさ・居住するメリットについての情報発信	4	こうほう佐倉の充実	2
第5次佐倉市総合計画の情報公開	1	市長との懇話会	1

市役所			
各種手続き・各種証明取得の利便向上	5	市長・市職員の人件費削減	5
市職員の質の向上	4	市役所の立地への不満	3
市議会議員の定数削減	2	市職員の対応への感謝	1
市役所の駐車場拡充	1	市職員の合理化にともなうサービス低下への不安	1

税金			
住民税が高い	8	適切な税運用	3
歳入向上	1	公共投資よりも生活支援を	1
若者への税金控除	1		

公共施設			
公共施設のさらなる増設・充実	4	公共施設の統廃合・廃止	3
公共施設の自立的経営	2	既存施設の用途は市民の多様な声をよく聴いてほしい	2
既存施設の建替え	2	市街化調整区域にも施設の充実を	1
小・中学校の統廃合の推進	1	既存施設の維持	1
市民の集いの場としての活用	1	小学校の今後への不安	1
入浴施設を広く市民に開放してほしい	1		

VII その他

まちづくりの方向性

まちづくりの方向性			
多様な世代の市民が協力しあう住みよいまちづくり（地域共生の視点を含む）	12	まちづくりの方向性を重点化・明確化	5
適正な税・資産運用によるまちづくり	5	コンパクトシティの推進	4
若い世代が住みよいまちづくり	3	佐倉市の中心地がはっきりしない	3
歴史・伝統を生かしたまち並み・まちづくり	3	安全・安心のまちづくり	3
人口減少対策	3	人口の少ない地区にも生活基盤の整備を	2
道路・生活環境整備への重点化	2	高層マンションはもう必要ない	1
官民一体となったまちづくり	1	現状の佐倉市が大好きです	1
地区ごとの特性を活かしたまちづくり	1	新しいことへの挑戦	1
まちづくりについての意見交換の場	1	にぎわいの創出	1
福祉の充実した住みよいベッドタウン	1	観光振興・居住環境両面の推進	1
他市のようなまちづくり（印西市）	1	インバウンド観光の重点化	1
マナーやルールの徹底	1	子どもを産み育てやすいまちづくり	1
道路環境の改善と印旛沼の浄化	1	健康づくり・スポーツの推進	1
佐倉市の現状の情報発信の充実	1	市民の集いの場の充実	1
市民の声をもっと聴いてほしい	1	工業団地の拡充	1
千葉市を中心とした広域的なまちづくり	1	農業と商業のバランスのとれた発展	1

市民意識調査について

市民意識調査			
市民意識調査への肯定的な意見	3	設問設計への不満	2

全世帯へのアンケート実施	1	調査結果の市政への反映	1
--------------	---	-------------	---

